

次期京都市生活安全(防犯・交通事故防止)
基本計画策定のための
市民アンケート調査結果報告書



京都市

目 次

I. 調査の概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査概要.....	1
3. 比較対象.....	1
4. 報告書の見方.....	1
5. 回答者の属性.....	2
II. 調査結果.....	5
1. 犯罪や迷惑行為に関する安心・安全について.....	5
2. 交通事故に関する安心・安全について.....	26
3. 犯罪被害者支援について.....	30
4. 地域による防犯・交通事故防止について.....	34
5. 京都市の安心・安全の取組について.....	41
6. 防犯・交通事故防止分野における安心・安全を実現するための総合的な取組について.....	43
III. 調査票.....	52

I. 調査の概要

1. 調査の目的

令和3年度から令和7年度までの5年間を期間とする新たな京都市生活安全（防犯・交通事故防止）基本計画の基礎資料とすることを目的として、市民の皆様が日々安心して安全な暮らしを実感しているかどうか、地域による防犯・交通事故防止への考え方などに関して、市民の皆様の意識やニーズを把握するためにアンケート調査を実施しました。

2. 調査概要

- 調査対象者：18歳以上の京都市民 3,000人
- 抽出方法：無作為抽出
- 調査期間：令和元年11月21日（木）～12月12日（木）
- 調査方法：郵送配布、回収
- 回収状況

配布数	回収数	回収率
3,000	1,168	38.9%

3. 比較対象

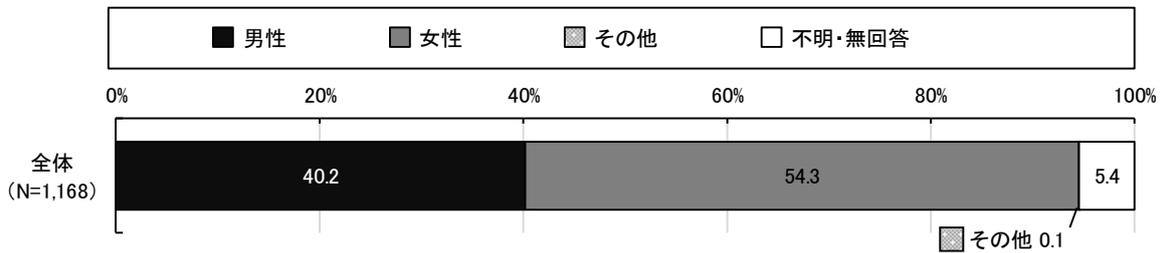
	調査名	実施時期	対象	回収数 (回収率)
前回調査 (京都市)	第2次京都市生活安全基本 計画中間見直しに向けたア ンケート調査	平成28年 2月	20歳以上の京都市民	1,401/3,000 (46.7%)

4. 報告書の見方

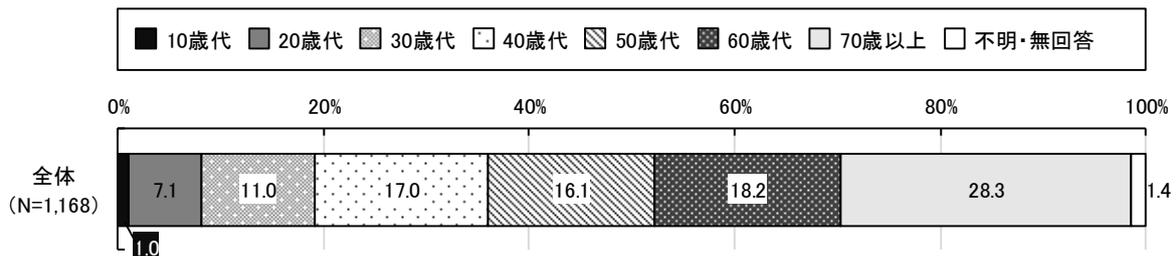
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人数）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は実際のアンケートより簡略化している場合があります。
- 回答者が0人の場合は、グラフ上の「0.0%」表記を省略している場合があります。

5. 回答者の属性

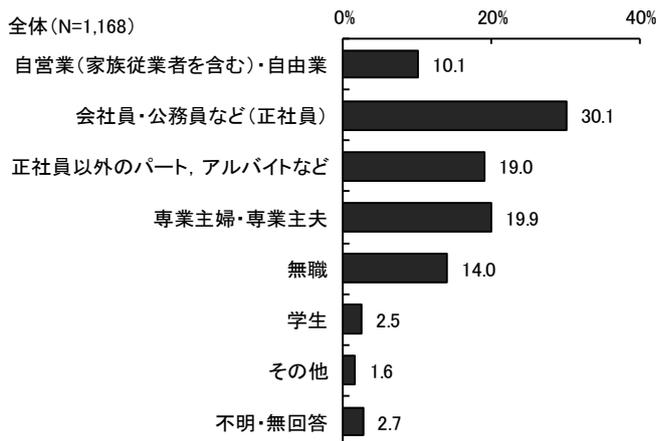
●性別



●年齢



●職業



参考:「その他」の内容

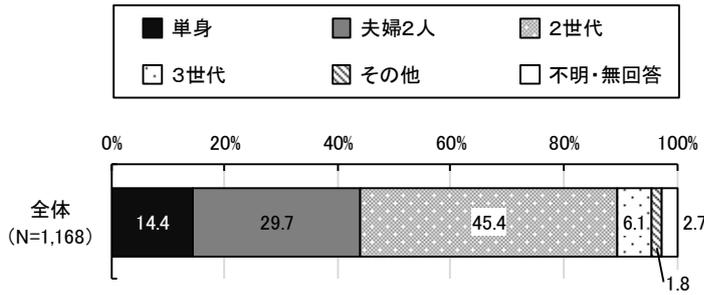
分類	件数
年金生活	2
派遣社員	2
会社役員	1
農業	1
その他	4

●仕事先の所在地

※職業で「自営業(家族従業者を含む)・自由業」「会社員・公務員など(正社員)」「正社員以外のパート, アルバイトなど」を選択した方

上段:件数 下段:%	合計	市内	市外	不明・無回答
自営業(家族従業者を含む)・自由業	118 100.0	96 81.4	11 9.3	11 9.3
会社員・公務員など(正社員)	352 100.0	260 73.9	83 23.6	9 2.6
正社員以外のパート, アルバイトなど	222 100.0	192 86.5	28 12.6	2 0.9

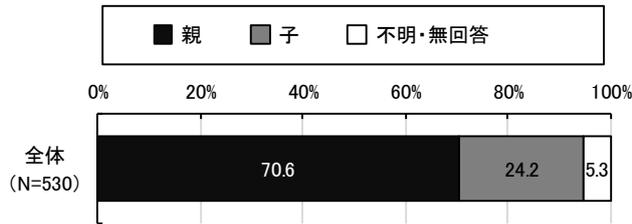
● 家族構成



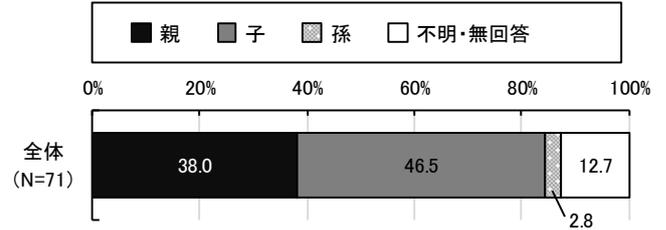
参考：「その他」の内容

分類	件数
兄弟姉妹	4
夫、妻等の兄弟姉妹と同居	2
4世代	2
その他	3

● 家族構成で「2世代」と答えた方

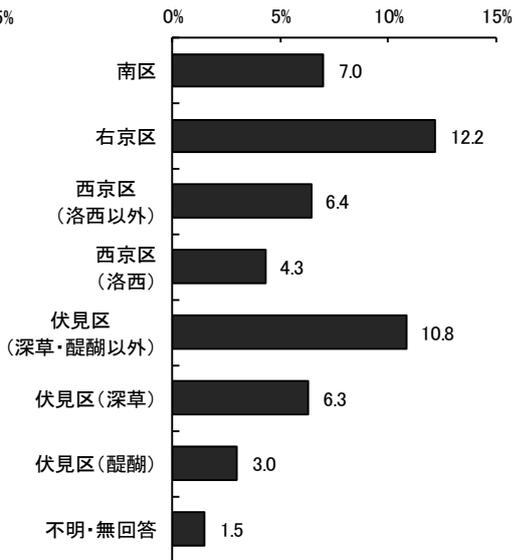
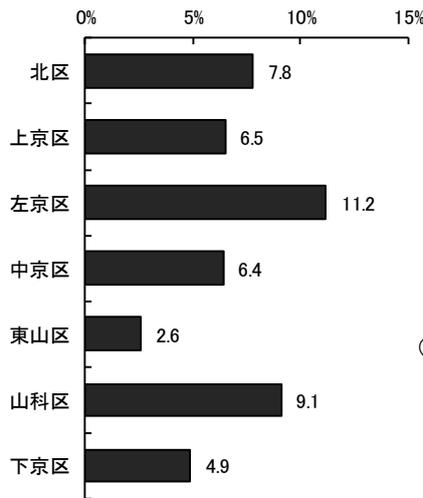


● 家族構成で「3世代」と答えた方

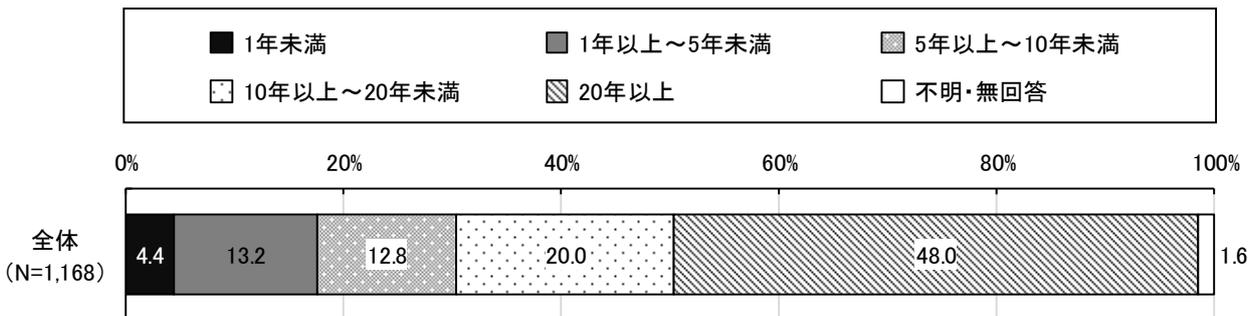


● お住いの区

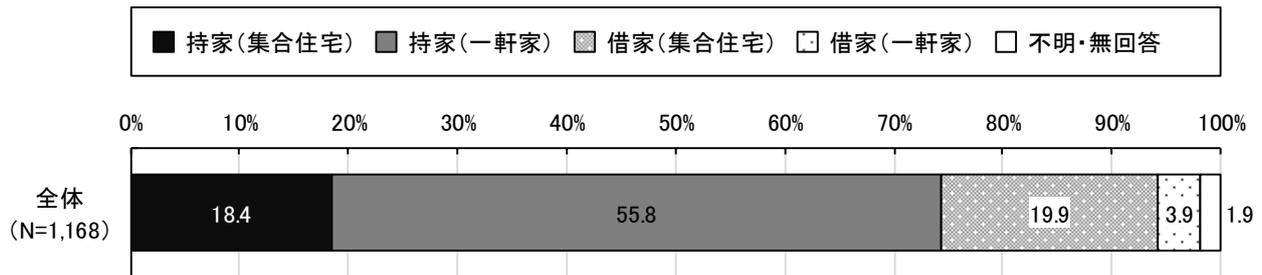
全体 (N=1,168)



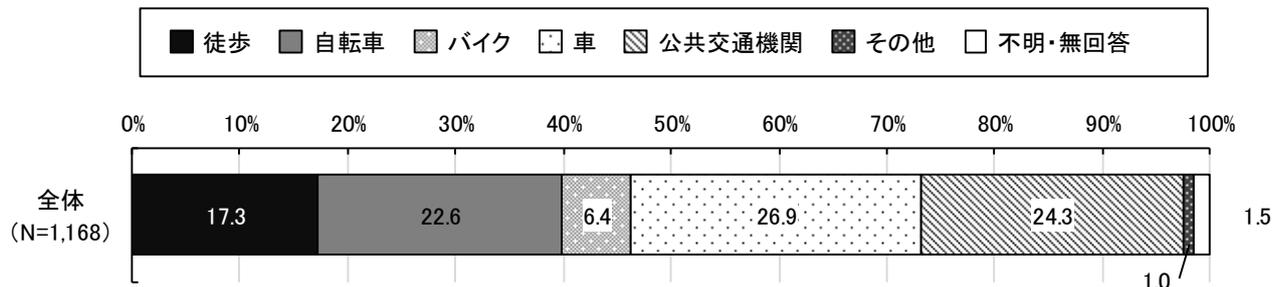
● 居住年数



●居住形態



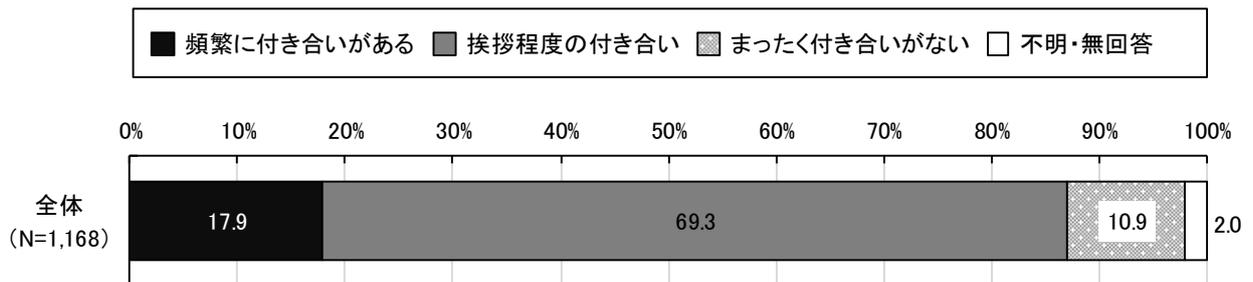
●普段の主な移動手段



参考：「その他」の内容

分類	件数
タクシー	8
車イス	2
その他	2

●近所付き合いの程度



Ⅱ. 調査結果

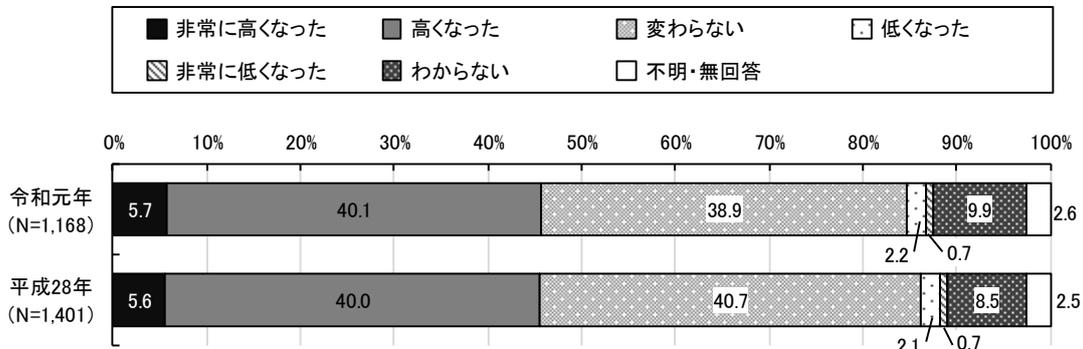
1. 犯罪や迷惑行為に関する安心・安全について

問1 あなたやあなたの家族が犯罪にあう可能性について、どのようにお感じですか
(〇は1つだけ)

【全体傾向】

『高くなった』（「非常に高くなった」と「高くなった」の計）が45.8%、『低くなった』（「非常に低くなった」と「低くなった」の計）は2.9%となっている。

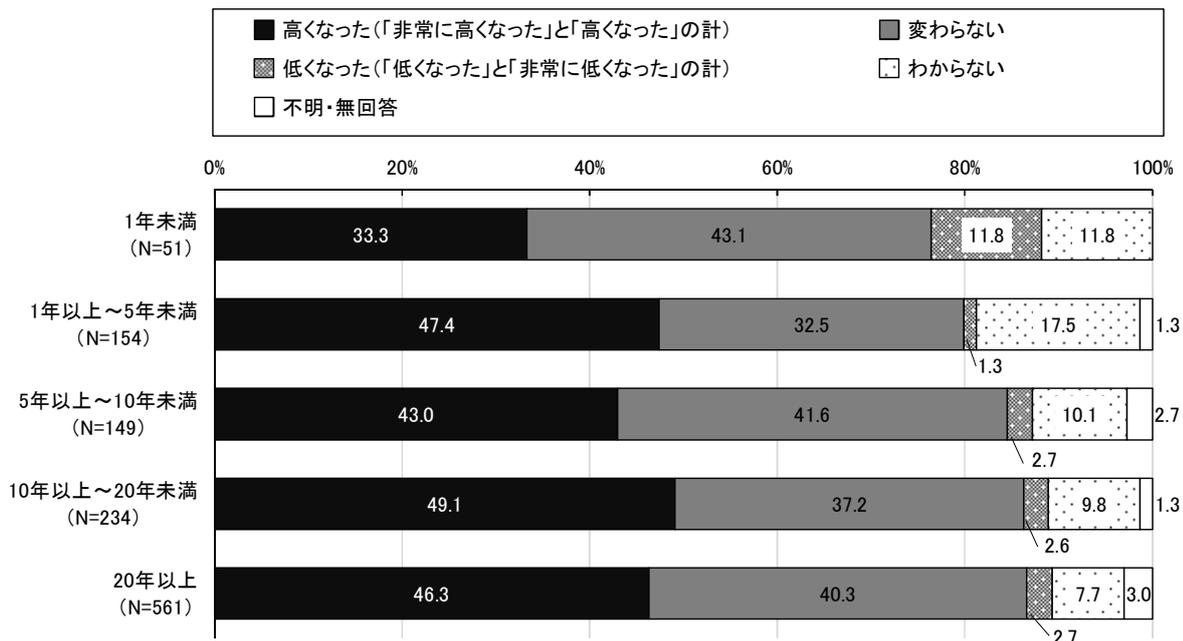
平成28年と比較すると、ほぼ差はなく、引き続き、市民の体感治安を向上させていくために様々な取組を進めていく必要がある。



【居住年数別】

居住年数別では、“1年未満”を除く項目において『高くなった』が最も高い。

“1年以上～5年未満”“10年以上～20年未満”“20年以上”においては、『高くなった』が『変わらない』と『低くなった』の計を上回っており、犯罪にあう可能性が高くなったと感じている人の割合が高い。

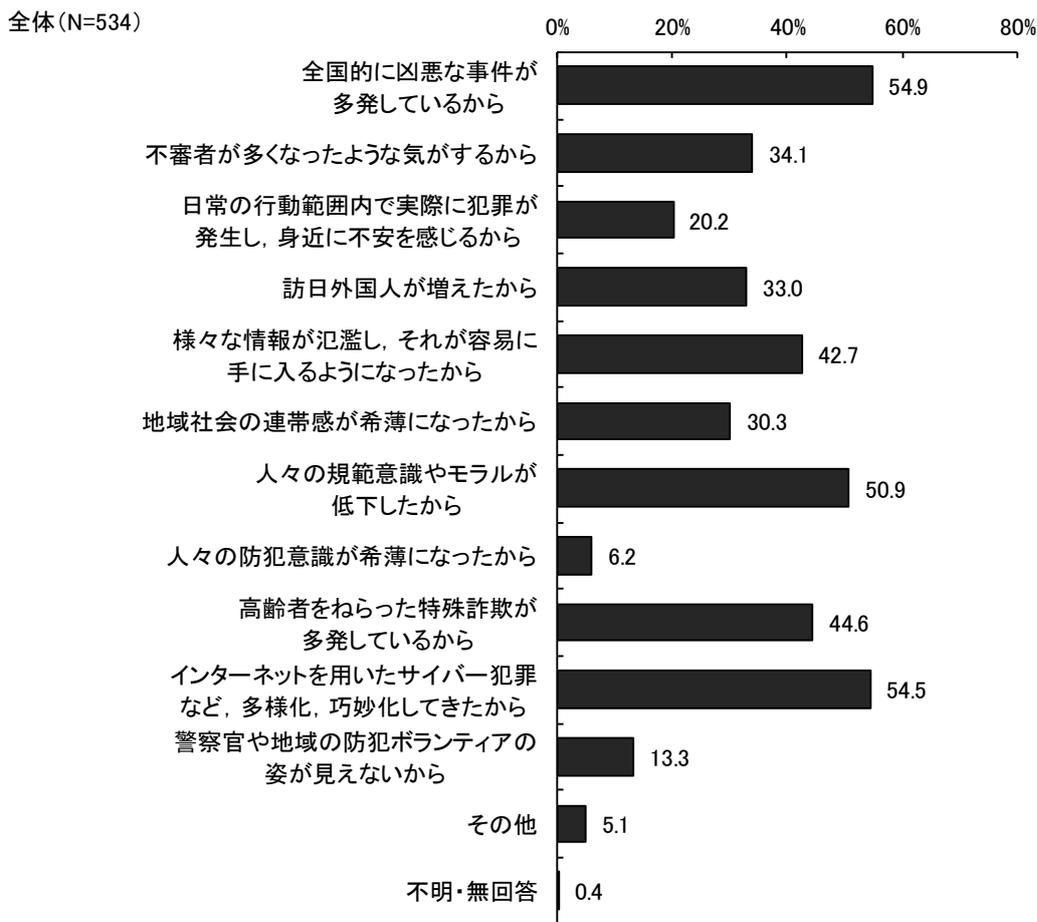


問2 犯罪が発生する可能性が高くなったと感じる理由（〇はいくつでも）

【全体傾向】

「全国的に凶悪な事件が多発しているから」が54.9%と最も高い。次いで「インターネットを用いたサイバー犯罪など、多様化、巧妙化してきたから」が54.5%、「人々の規範意識やモラルが低下したから」が50.9%と続いている。

本市で発生した事件はもとより、全国で発生する凶悪事件も体感治安に与える影響が大きいことが読み取れる。また、インターネット等の普及により、犯罪の多様化・巧妙化や様々な情報が氾濫し、容易に入手することが可能になったことを不安を感じる人も多いと考えられる。



参考：「その他」の内容

分類	件数
身近での事件・トラブルの経験	7
ひとりひとりのモラルの低下、協調性の希薄化	5
警察関係（交番にいない、など）	3
その他（民泊・空き家の増加、など）	7

【年代別】※各年代上位3位のみを抜粋して掲載。

年代別では、“60歳代”“70歳以上”において「高齢者をねらった特殊詐欺が多発しているから」が上位3位以内に上がっており、他の年代と異なる傾向にある。

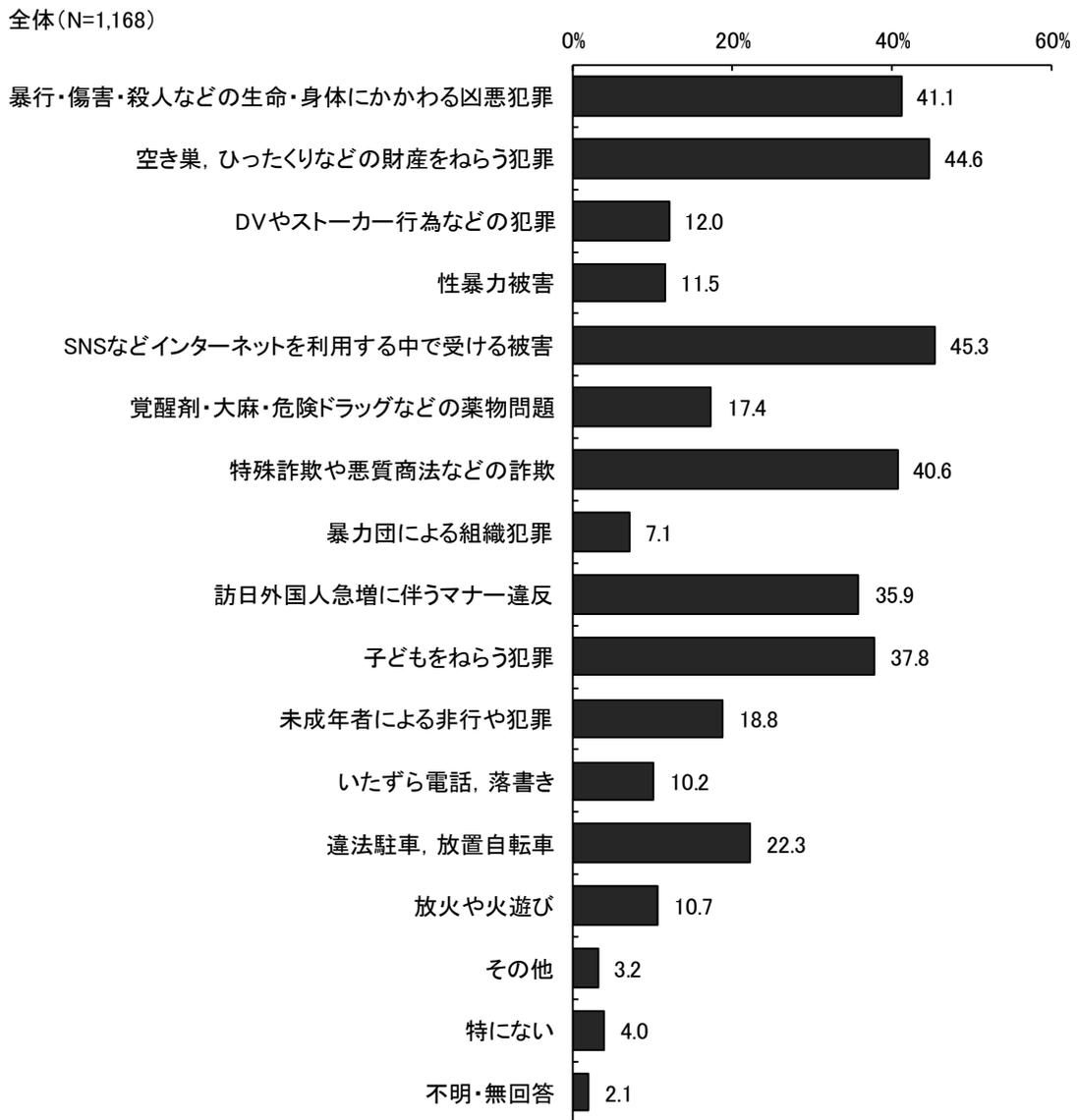
「インターネットを用いたサイバー犯罪など、多様化、巧妙化してきたから」は、“60歳代”以下の年代で上位2位以内となっている。

	18～29歳(N=31)		30歳代(N=57)	
	項目	件数	項目	件数
		%		%
第1位	インターネットを用いたサイバー犯罪など、多様化、巧妙化してきたから	19	全国的に凶悪な事件が多発しているから	38
		61.3		66.7
第2位	人々の規範意識やモラルが低下したから	17	インターネットを用いたサイバー犯罪など、多様化、巧妙化してきたから	26
		54.8		45.6
第3位	不審者が多くなったような気がするから	16	様々な情報が氾濫し、それが容易に手に入るようになったから	24
		51.6		42.1
	40歳代(N=106)		50歳代(N=98)	
	項目	件数	項目	件数
		%		%
第1位	人々の規範意識やモラルが低下したから	64	インターネットを用いたサイバー犯罪など、多様化、巧妙化してきたから	58
		60.4		59.2
第2位	インターネットを用いたサイバー犯罪など、多様化、巧妙化してきたから	61	人々の規範意識やモラルが低下したから	51
		57.5		52.0
第3位	全国的に凶悪な事件が多発しているから	50	全国的に凶悪な事件が多発しているから	50
		47.2		51.0
	60歳代(N=101)		70歳以上(N=137)	
	項目	件数	項目	件数
		%		%
第1位	全国的に凶悪な事件が多発しているから	65	高齢者をねらった特殊詐欺が多発しているから	87
		64.4		63.5
第2位	インターネットを用いたサイバー犯罪など、多様化、巧妙化してきたから	58	全国的に凶悪な事件が多発しているから	73
		57.4		53.3
第3位	高齢者をねらった特殊詐欺が多発しているから	56	インターネットを用いたサイバー犯罪など、多様化、巧妙化してきたから	67
		55.4		48.9

問3 犯罪や迷惑行為に関して、あなたが日頃、特に不安に思われていることは何ですか（〇はいくつでも）

【全体傾向】

「SNSなどインターネットを利用する中で受ける被害」が45.3%と最も高い。次いで「空き巣、ひったくりなどの財産をねらう犯罪」が44.6%、「暴行・傷害・殺人などの生命・身体にかかわる凶悪犯罪」が41.1%と続いている。



参考：「その他」の内容

分類	件数
交通関係（交通事故，自動車・自転車の運転マナーの悪さ，あおり運転などの危険運転，高齢者による自動車の運転など）	15
近隣の住人とのトラブル（ゴミ出し，動物への餌やりなどの迷惑行為など）	3
マナー違反（観光客のマナー違反など，交通関係以外）	4
その他	11

【年代別】※各年代上位3位のみを抜粋して掲載。

“30歳代”において「子どもをねらう犯罪」が最も高い。また，“40歳代”においても上位2位となっており、いわゆる子育て世代で割合が高い傾向にある。

“60歳代”“70歳以上”においては、「特殊詐欺や悪質商法などの詐欺」が最も高く、次いで「空き巣、ひったくりなどの財産をねらう犯罪」が高い。

“50歳代”以下については，“30歳代”を除き、「SNSなどインターネットを利用する中で受ける被害」が最も高く、問2と同様にインターネット利用における犯罪不安が高い。

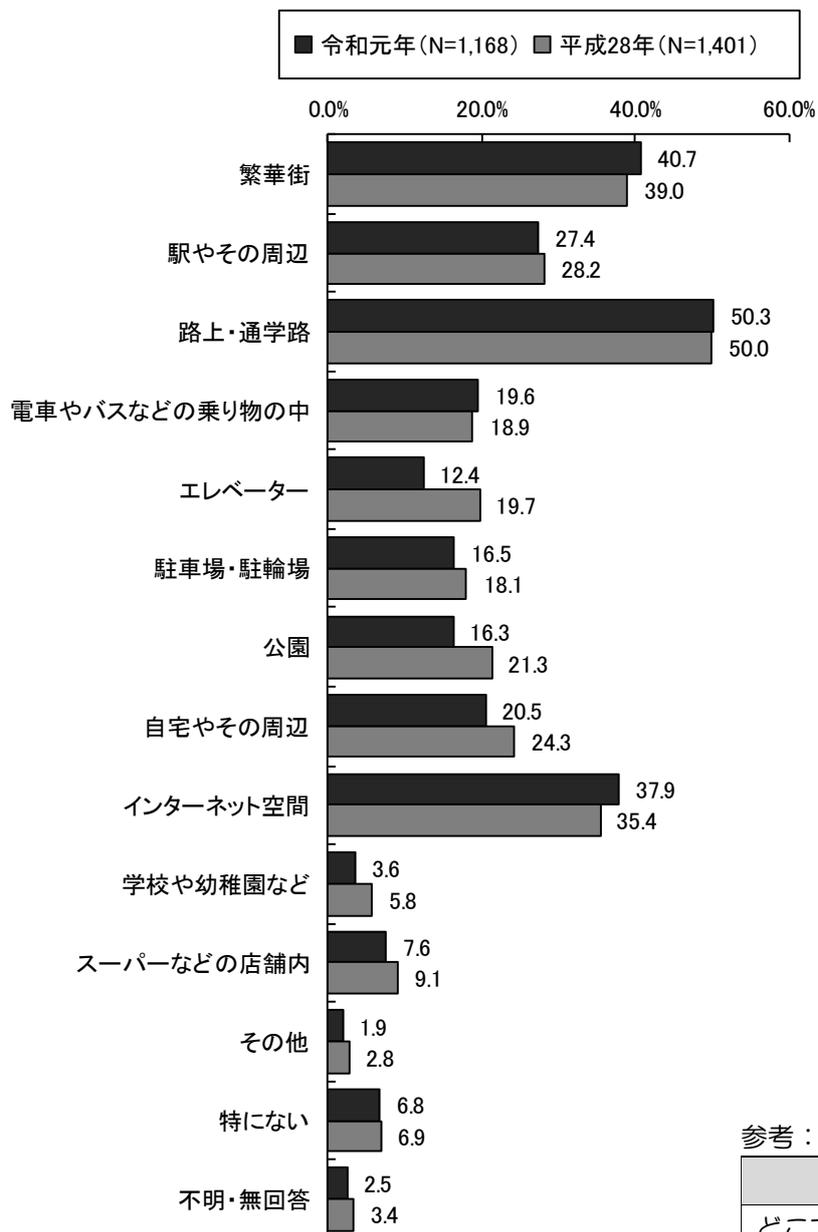
	18～29歳(N=95)		30歳代(N=128)	
	項目	件数	項目	件数
		%		%
第1位	SNSなどインターネットを利用する中で受ける被害	60	子どもをねらう犯罪	79
		63.2		61.7
第2位	暴行・傷害・殺人などの生命・身体にかかわる凶悪犯罪	48	暴行・傷害・殺人などの生命・身体にかかわる凶悪犯罪	68
		50.5		53.1
第3位	空き巣、ひったくりなどの財産をねらう犯罪	34	空き巣、ひったくりなどの財産をねらう犯罪	65
		35.8		50.8
	40歳代(N=198)		50歳代(N=188)	
	項目	件数	項目	件数
		%		%
第1位	SNSなどインターネットを利用する中で受ける被害	111	SNSなどインターネットを利用する中で受ける被害	109
		56.1		58.0
第2位	子どもをねらう犯罪	102	空き巣、ひったくりなどの財産をねらう犯罪	91
		51.5		48.4
第3位	空き巣、ひったくりなどの財産をねらう犯罪	91	特殊詐欺や悪質商法などの詐欺	89
		46.0		47.3
	60歳代(N=212)		70歳以上(N=331)	
	項目	件数	項目	件数
		%		%
第1位	特殊詐欺や悪質商法などの詐欺	97	特殊詐欺や悪質商法などの詐欺	156
		45.8		47.1
第2位	空き巣、ひったくりなどの財産をねらう犯罪	93	空き巣、ひったくりなどの財産をねらう犯罪	144
		43.9		43.5
第3位	暴行・傷害・殺人などの生命・身体にかかわる凶悪犯罪	86	訪日外国人急増に伴うマナー違反	128
		40.6		38.7
第3位	訪日外国人急増に伴うマナー違反	86		
		40.6		

問4 あなたや周りの人が犯罪にあうかもしれないと不安を感じる場所はどこですか
(〇はいくつでも)

【全体傾向】

「路上・通学路」が50.3%と最も高い。次いで「繁華街」が40.7%、「インターネット空間」が37.9%と続いている。

平成28年と比較すると、ほぼ差はない。



参考：「その他」の内容

分類	件数
どこでも可能性はある	7
人気のない場所	4
暗い場所	2
車道	2
その他	7

【年代別】※各年代上位3位のみを抜粋して掲載。

“30 歳代”以上のいわゆる子育て世代や孫がいる世代では「路上・通学路」が最も高くなっている。

“18～29 歳”“40 歳代”“50 歳代”において「インターネット空間」が上位2位以内となっている。

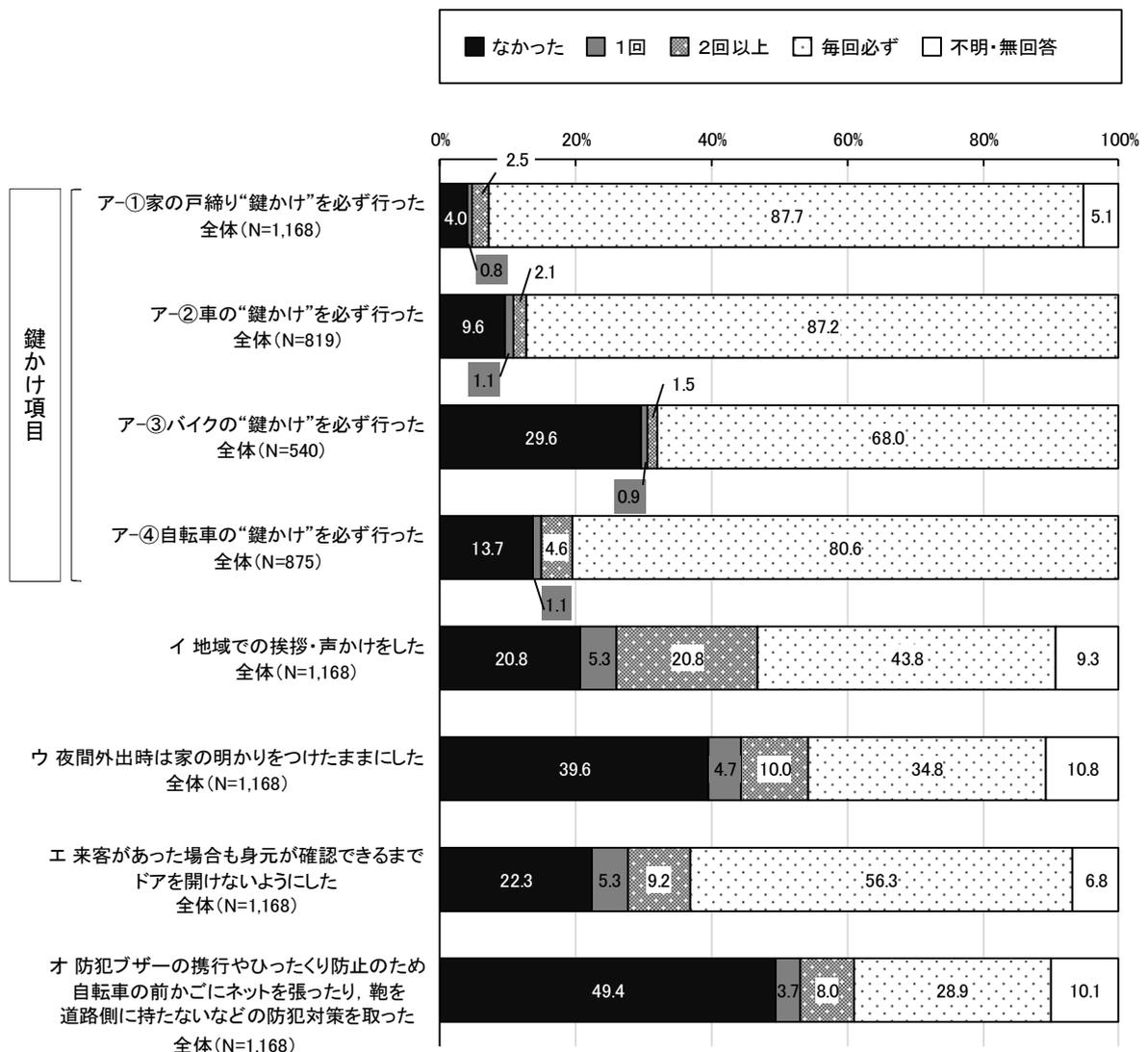
	18～29歳 (N=95)		30歳代 (N=128)	
	項目	件数	項目	件数
		%		%
第1位	インターネット空間	46	路上・通学路	79
		48.4		61.7
第2位	路上・通学路	44	繁華街	54
		46.3		42.2
第3位	繁華街	38	駅やその周辺	40
		40.0		31.3
	40歳代 (N=198)		50歳代 (N=188)	
	項目	件数	項目	件数
		%		%
第1位	路上・通学路	124	路上・通学路	99
		62.6		52.7
第2位	インターネット空間	95	インターネット空間	93
		48.0		49.5
第3位	繁華街	84	繁華街	85
		42.4		45.2
	60歳代 (N=212)		70歳以上 (N=331)	
	項目	件数	項目	件数
		%		%
第1位	路上・通学路	108	路上・通学路	127
		50.9		38.4
第2位	繁華街	100	繁華街	109
		47.2		32.9
第3位	インターネット空間	78	インターネット空間	93
		36.8		28.1

問5-ア～オ あなたや周りの人が犯罪にあわないために、過去1箇月の間に次のようなことに取り組みましたか（それぞれ当てはまるもの1つに○）

【全体傾向】

『ア-①家』『ア-②車』『ア-④自転車』の鍵かけについて、それぞれ8割～9割程度の人が「毎回必ず（取り組んだ）」と答えている。

一方、「（取り組むことは）なかった」は、『オ 防犯ブザーの携行やひったくり防止のため自転車の前かごにネットを張ったり、鞆を道路側に持たないなどの防犯対策を取った』で約5割、『ウ 夜間外出時は家の明かりをつけたままにした』で約4割と高く、鍵をかけるという行為には多くの人が取り組む一方、そこからもう一歩進んだ防犯対策を取る人は少ない傾向にある。



※②, ③, ④については、所有の有無に左右されるため、「不明・無回答」を除いて集計しています。

【『ア-①～④ 鍵かけ項目』×居住形態別】

居住形態別で見ると、『ア-①家の戸締り』では、“一軒家”で「毎回必ず（行った）」が8割半ばとなっており、“集合住宅”に比べ若干低い傾向にある。『ア-③バイク』では、“集合住宅”で「毎回必ず（行った）」は6割程度にとどまっている。

上段:件数 下段:%	問5-ア-①家の戸締り“鍵かけ”を必ず行った					
	合計	なかった	1回	2回以上	毎回必ず	不明・無回答
全体	1,168	47	9	29	1,024	59
	100.0	4.0	0.8	2.5	87.7	5.1
集合住宅	448	14	0	10	404	20
	100.0	3.1	0.0	2.2	90.2	4.5
一軒家	698	30	9	19	605	35
	100.0	4.3	1.3	2.7	86.7	5.0

上段:件数 下段:%	問5-ア-②車の“鍵かけ”を必ず行った				
	合計	なかった	1回	2回以上	毎回必ず
全体	819	79	9	17	714
	100.0	9.6	1.1	2.1	87.2
集合住宅	297	41	2	3	251
	100.0	13.8	0.7	1.0	84.5
一軒家	510	37	7	14	452
	100.0	7.3	1.4	2.7	88.6

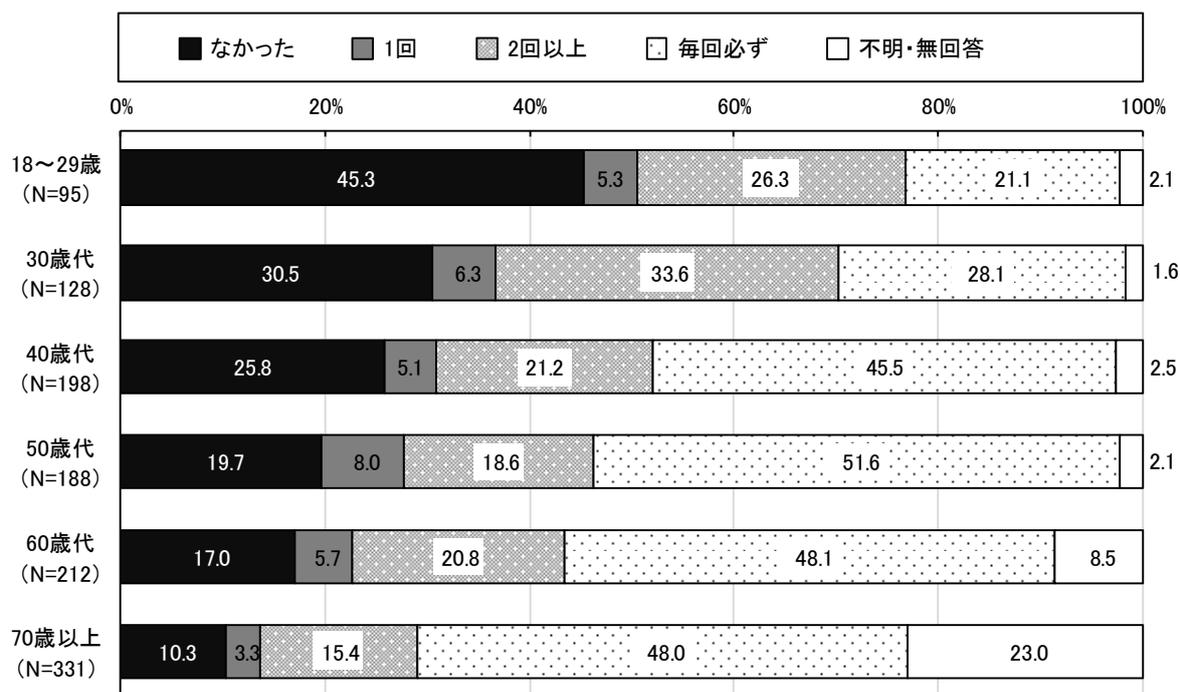
上段:件数 下段:%	問5-ア-③バイクの“鍵かけ”を必ず行った				
	合計	なかった	1回	2回以上	毎回必ず
全体	540	160	5	8	367
	100.0	29.6	0.9	1.5	68.0
集合住宅	207	74	1	1	131
	100.0	35.7	0.5	0.5	63.3
一軒家	324	84	4	7	229
	100.0	25.9	1.2	2.2	70.7

上段:件数 下段:%	問5-ア-④自転車の“鍵かけ”を必ず行った				
	合計	なかった	1回	2回以上	毎回必ず
全体	875	120	10	40	705
	100.0	13.7	1.1	4.6	80.6
集合住宅	343	44	4	15	280
	100.0	12.8	1.2	4.4	81.6
一軒家	517	73	6	25	413
	100.0	14.1	1.2	4.8	79.9

【『イ 地域での挨拶・声かけをした』×年代別】

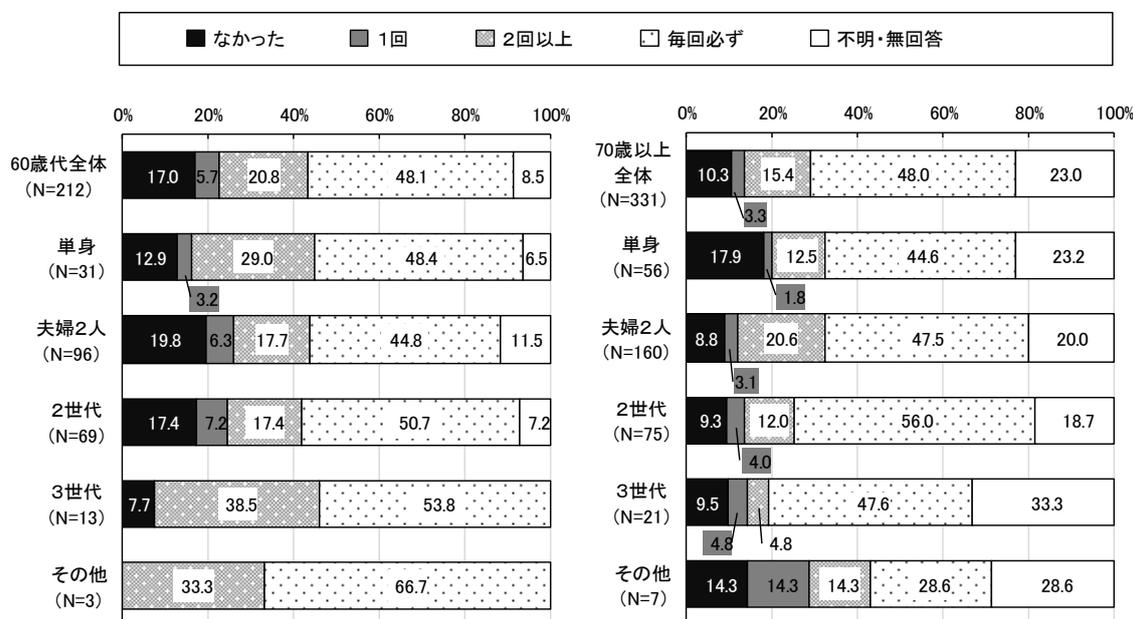
年代別で見ると、“40歳代”以上において「毎回必ず（取り組んだ）」が最も高い。

年代が上がるにつれ、「毎回必ず（取り組んだ）」の割合が高くなる一方、“60歳代”以上の1～2割程度が挨拶・声かけが「なかった」と回答している。



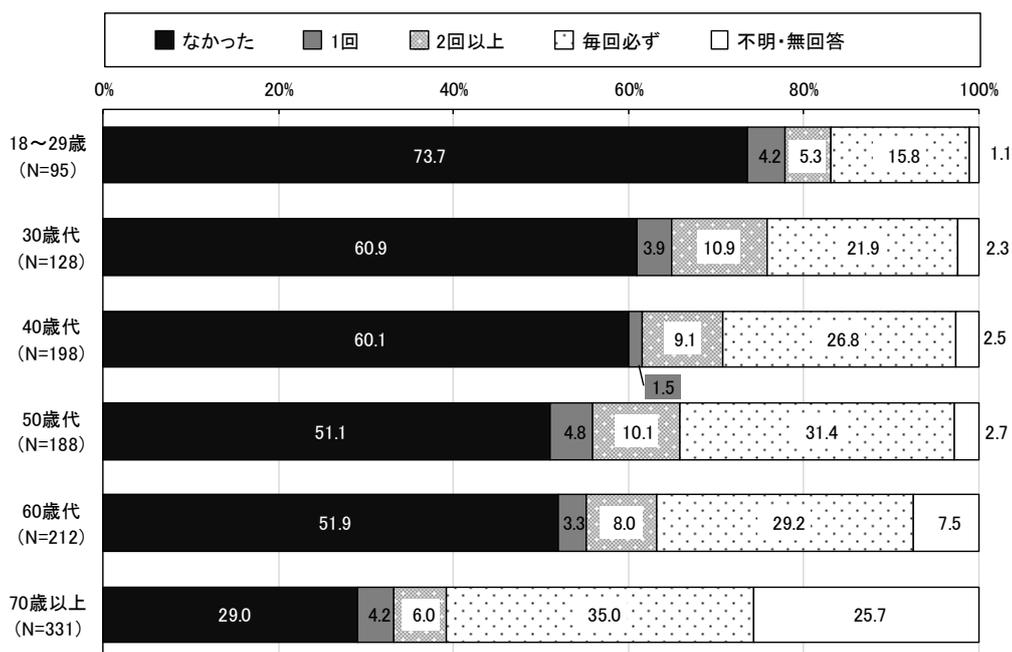
【『イ 地域での挨拶・声かけをした』×家族構成・年代別】※60歳代，70歳以上のみ。

家族構成・年代別で見ると、「(挨拶・声かけが)なかった」は，“70歳以上”では単身世帯で，“60歳代”では夫婦2人世帯でそれぞれ約2割となっている。地域とのつながりは防犯の面でも重要であるが，一般的に特殊詐欺をはじめとした犯罪に巻き込まれる可能性が高いとされている高齢の人のみの世帯であっても，近所付き合いが希薄な世帯があることがわかる。



【『才 防犯ブザーの携行やひったくり防止のため自転車の前かごにネットを張ったり，鞆を道路側に持たないなどの防犯対策を取った』×年代別】

“70歳以上”において「毎回必ず(取り組んだ)」が「(取り組みが)なかった」を上回っている。

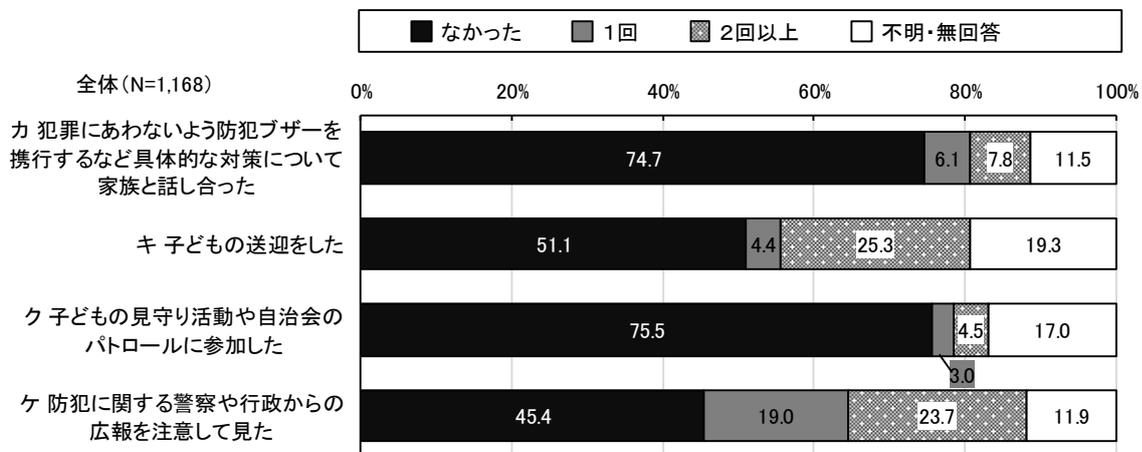


問5-カ～ケ あなたや周りの人が犯罪にあわないために、過去1箇月の間に次のようなことに取り組みましたか（それぞれ当てはまるもの1つに○）

【全体傾向】

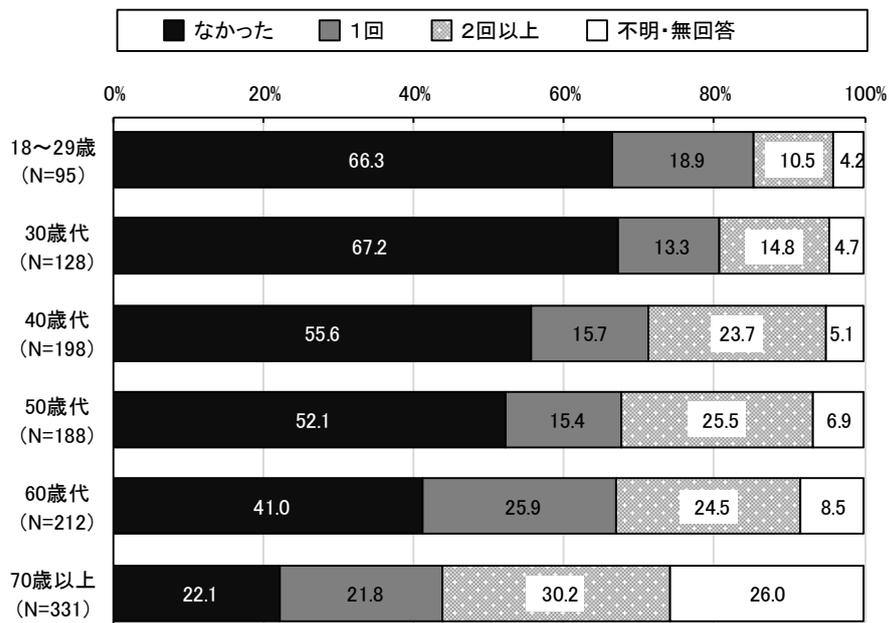
『カ 犯罪にあわないよう防犯ブザーを携行するなど具体的な対策について家族と話し合った』、『ク 子どもの見守り活動や自治会のパトロールに参加した』について、「(取組が) なかった」との回答が7割台となっており、家族で防犯対策について考える機会を持つなど、自主的に活動する人が少ないことがわかる。

また、『ケ 防犯に関する警察や行政からの広報を注意して見た』では「2回以上」が2割台であり、後述の問9の特殊詐欺の情報入手先として突出して多い「テレビ・ラジオの広報」との結果からも、情報の受け手にとって、自ら情報を取りに行くものより、自然と目にするものの中で受け取るものが意識啓発に効果的であることがわかる。



【『ケ 防犯に関する警察や行政からの広報を注意して見た』×年代別】

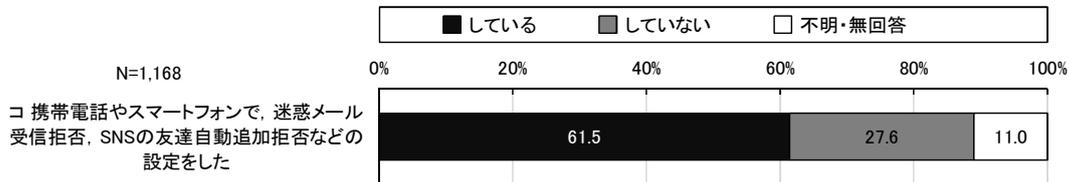
年代別で見ると、“70歳以上”では「2回以上（見た）」が最も高く、その他の年代では「(見るこ
とが) なかった」が最も高い。



問5-コ 携帯電話やスマートフォンで、迷惑メール受信拒否、SNSの友達自動追加拒否などの設定をした（○は1つだけ）

【全体傾向】

「（取り組みを）している」が61.5%、「（取り組みを）していない」が27.6%となっている。

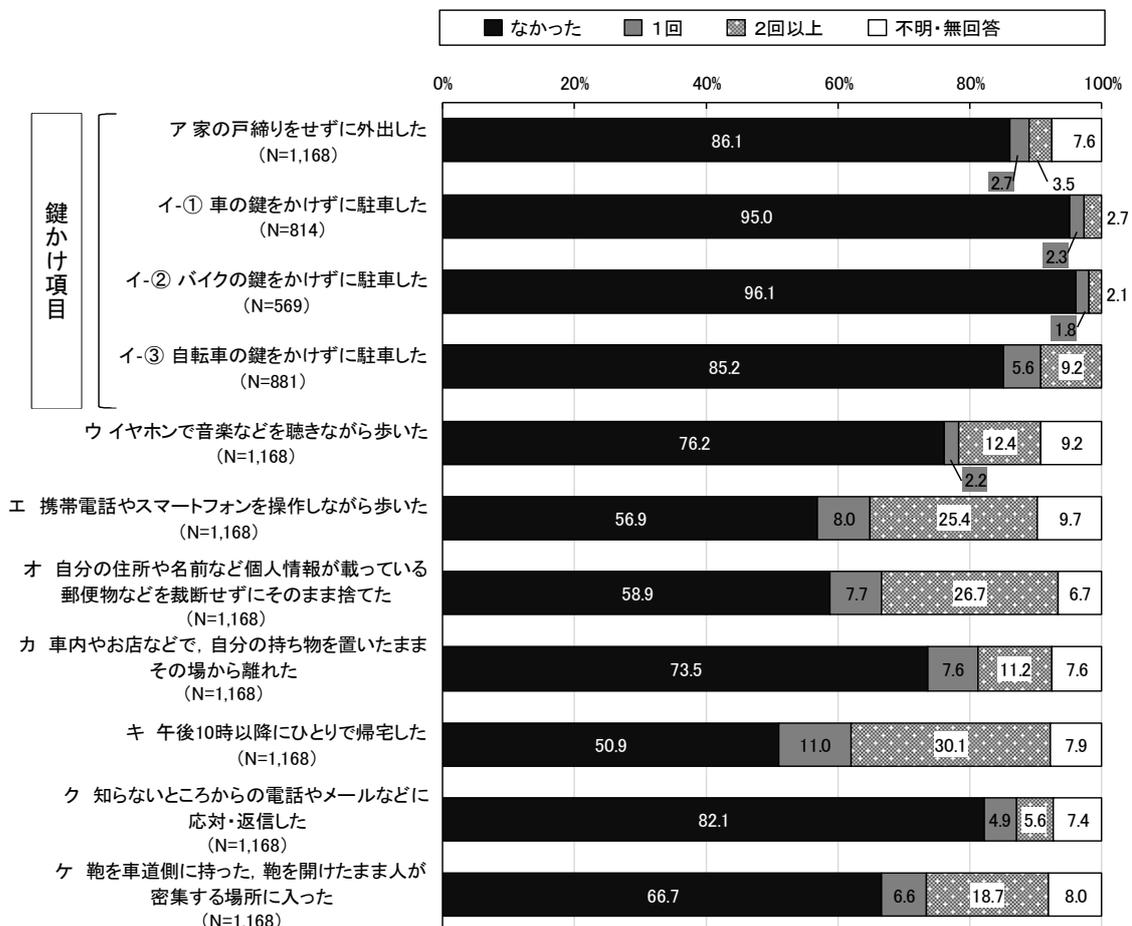


問6 あなたは過去1箇月の間に、次のようなことがありましたか（問ア～問ケそれぞれ当てはまるもの1つに○）

【全体傾向】

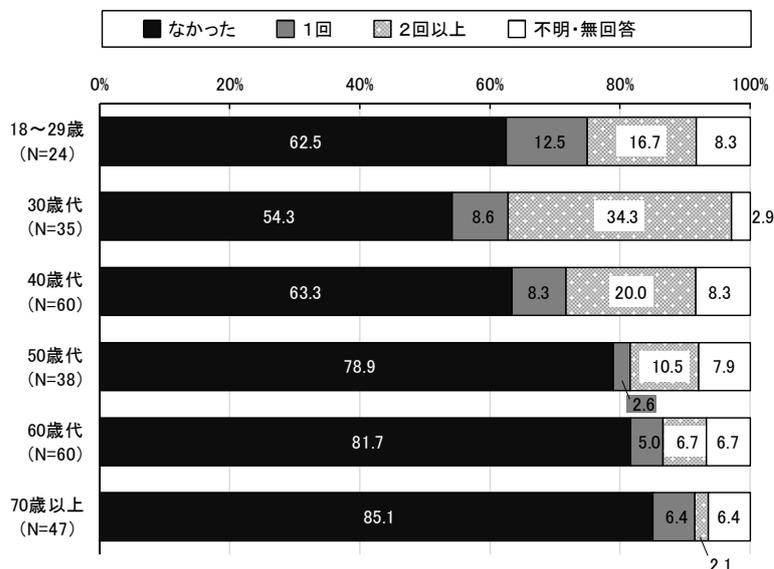
『エ 携帯電話やスマートフォンを操作しながら歩いた』『オ 自分の住所や名前など個人情報が載っている郵便物などを裁断せずにそのまま捨てた』『キ 午後10時以降にひとりで帰宅した』で『1回以上（している）』（「1回」と「2回以上」の計）が3割を超えている。

また、昨今多くなっているひったくりなどの被害にあう可能性の高い「鞆を車道側に持つ」「鞆を開けたまま密集地に入る」との不安全行動を取ったことがある人（『ケ』で「1回」「2回以上」と回答した人の合計）が2割を超えている。



※①、②、③については、所有の有無に左右されるため、「不明・無回答」を除いて集計しています。

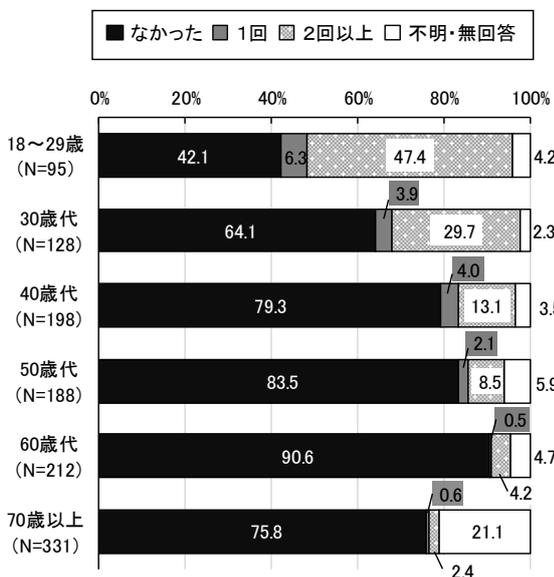
【『イ-③自転車の鍵をかけずに駐車した』×普段の主な移動手段で「自転車」を選択した人×年代別】
 年代別で見ると、鍵をかけずに駐車したことが『1回以上』（「1回」と「2回以上」の計）との回答は、“50歳代”以上で1割前後であるのに対し、“40歳代”以下では2割台後半以上と高い。特に“30歳代”では、4割以上が鍵をかけずに駐車をした経験があり、自転車盗のターゲットとなりやすいと考えられる。



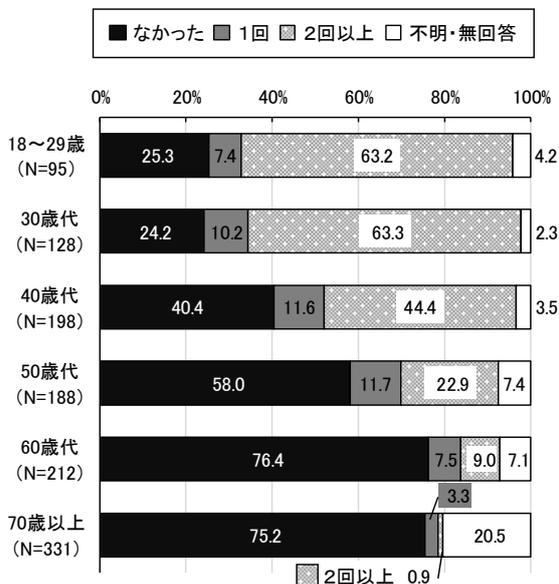
【『ウ イヤホンで音楽などを聴きながら歩いた』, 『エ 携帯電話やスマートフォンを操作しながら歩いた』×年代別】

年代別に見ると、『ウ イヤホンで音楽などを聴きながら歩いた』については「なかった」との回答が“30歳代”以上で最も高くなっているが、『エ 携帯電話やスマートフォンを操作しながら歩いた』との問いになると、「2回以上（操作しながら歩いた）」が“40歳代”以下で最も高くなり、急激に増加している。イヤホンで音楽などを聴きながら歩くこと以上に注意散漫になる携帯電話等を操作しながら歩く不安全行動を1回以上取っている人が、“40歳代”以下の年代では半数以上を占める。

『ウ イヤホンで音楽などを聴きながら歩いた』

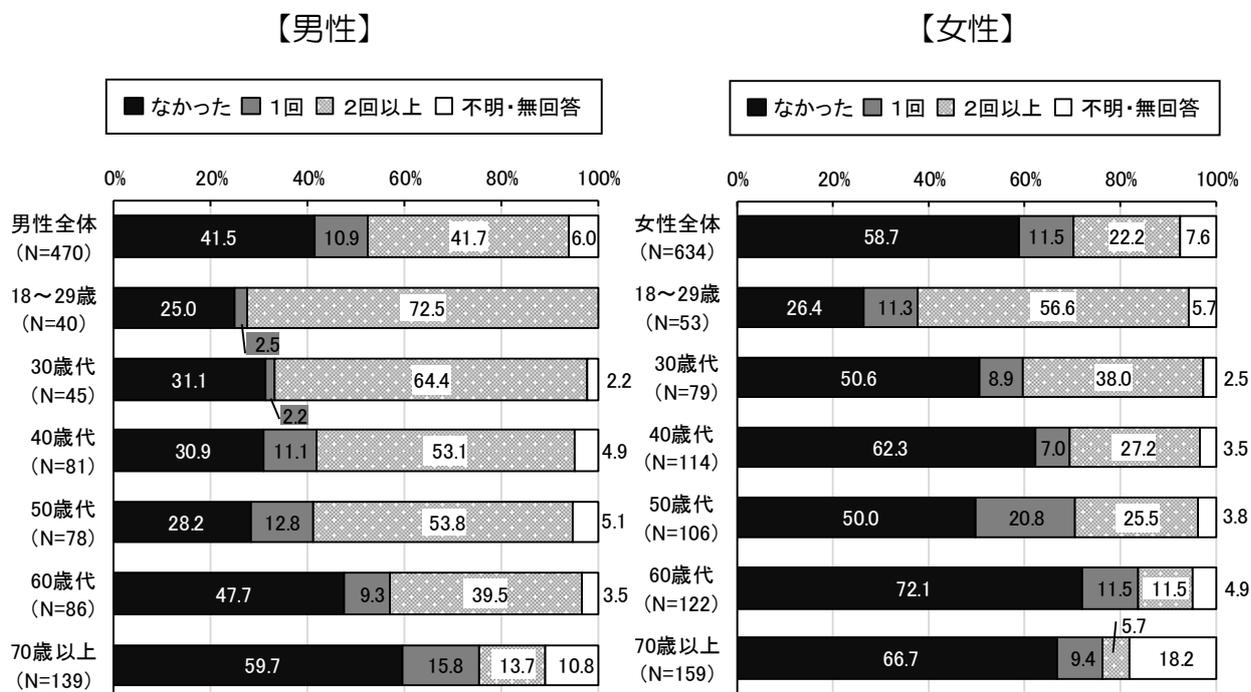


『エ 携帯電話やスマートフォンを操作しながら歩いた』



【『キ 午後 10 時以降にひとりで帰宅した』×男女・年代別】

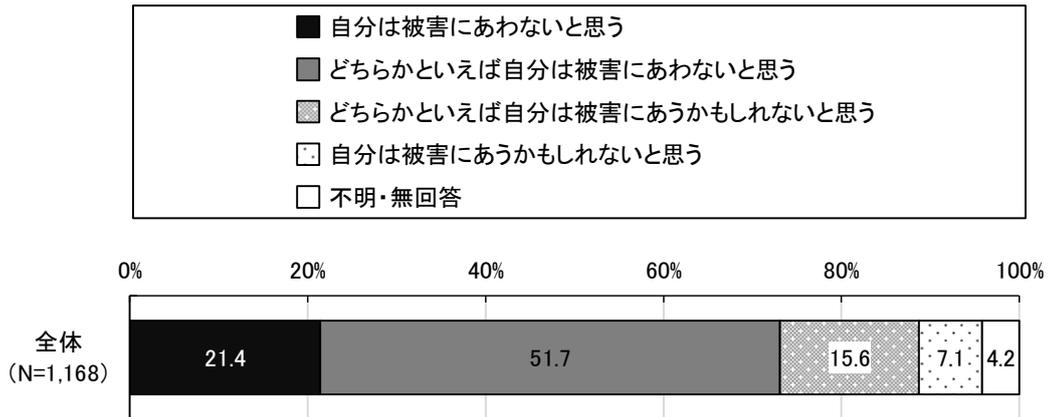
男性は“50 歳代”以下は「2 回以上（ひとりで帰宅した）」が最も高くなっている。女性は“30 歳代”以上は6～8割が「1 回以下」（「1 回」または「なかった」の合計）と回答している一方，“18～29 歳”は「2 回以上」が5割以上で最も高くなっている。



問7 特殊詐欺（「振り込め詐欺（還付金詐欺、架空請求詐欺など）」とそれ以外の特殊詐欺（金融商品など取引名目の詐欺など）に対するあなたの意識について、最も近いものはどれですか（○は1つだけ）

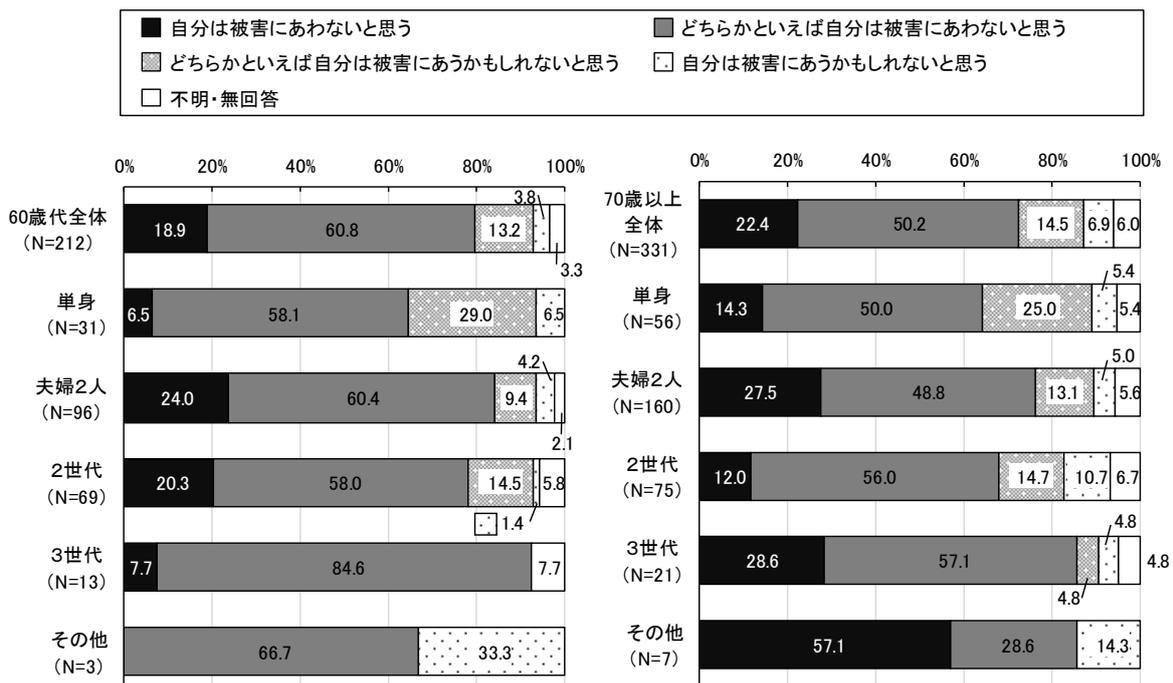
【全体傾向】

『被害にあわないと思う』（「自分は被害にあわないと思う」と「どちらかといえば自分は被害にあわないと思う」の計）が73.1%、『被害にあうかもしれないと思う』（「どちらかといえば自分は被害にあうかもしれないと思う」と「自分は被害にあうかもしれないと思う」の計）が22.7%となっている。



【家族構成・年代別】※60歳代、70歳以上のみ。

一般的に特殊詐欺の被害にあいやすいとされている“60歳代”“70歳以上”では、それぞれ全体で2割前後が「自分は被害にあわないと思う」と回答している。“70歳以上”では、単身世帯で1割台半ば、夫婦2人世帯で、約3割の人が「自分は被害にあわないと思う」と回答しており、より一層の注意喚起が必要である。

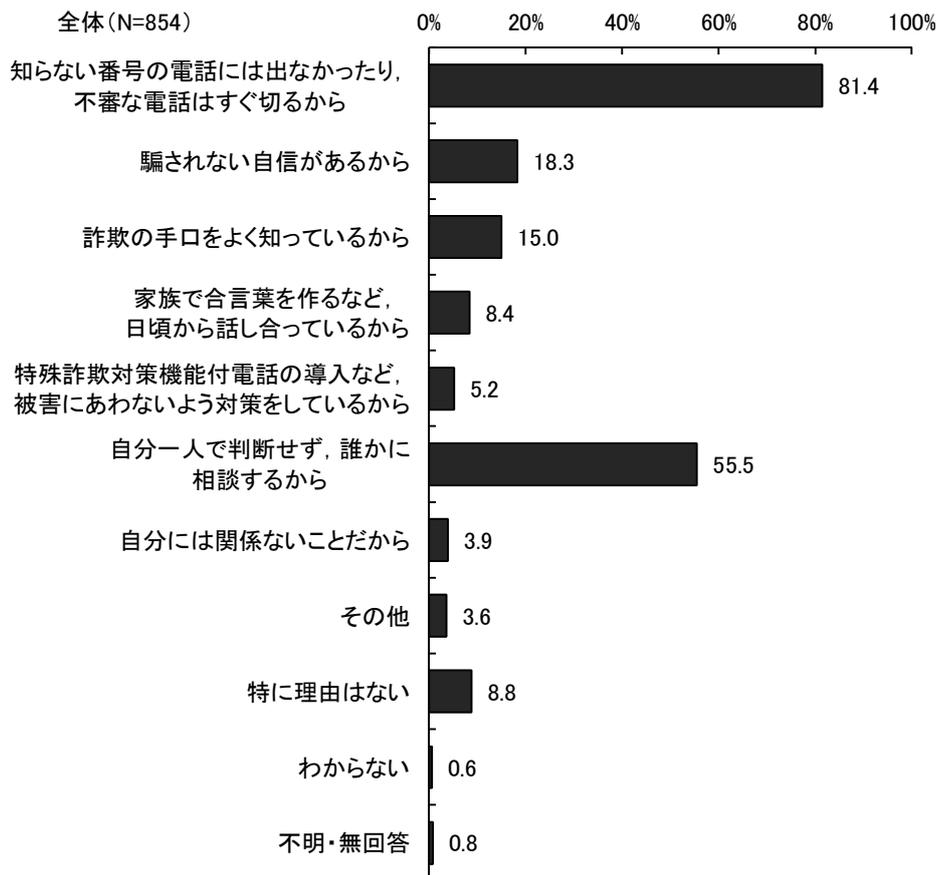


問8 自分は被害にあわないと思う理由（〇はいくつでも）

【全体傾向】

「知らない番号の電話には出なかったり、不審な電話はすぐ切るから」が81.4%と最も高い。次いで「自分一人で判断せず、誰かに相談するから」が55.5%となっている。

「騙されない自信があるから」が18.3%、「特に理由はない」が8.8%など、一定の対策をとっているわけではないが、被害にあわないと考えている人もいることから、対策の周知啓発が重要である。



参考：「その他」の内容

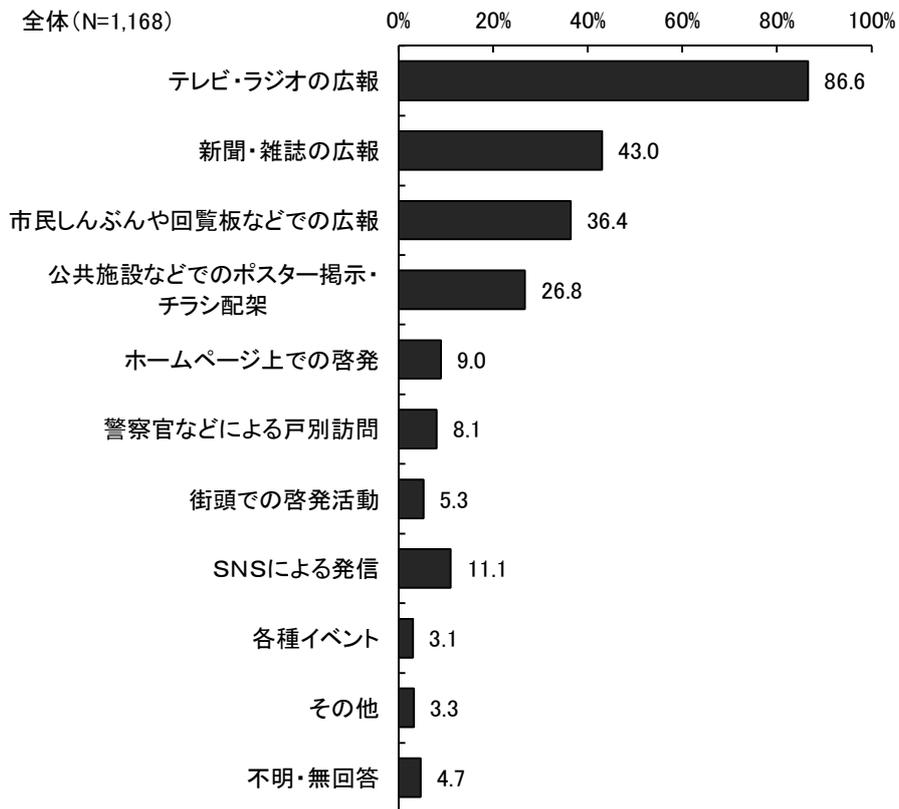
分類	件数
被害にあうほどの財産がないから	8
情報を得たり、用心深く警戒しているから	7
電話への対応を工夫しているから（留守電にしておく、など）	4
自分で警察に行って対処できるから	2
その他	9

問9 特殊詐欺に関する情報をどこで得ていますか（〇はいくつでも）

【全体傾向】

「テレビ・ラジオの広報」が86.6%と最も高い。次いで「新聞・雑誌の広報」が43.0%、「市民しんぶんや回覧板などでの広報」が36.4%と続いている。

年代間で大きな変化はないが、“10歳代”“20歳代”では、そのうちの3割超が「SNSによる発信」で情報を得ていると回答している。



参考：「その他」の内容

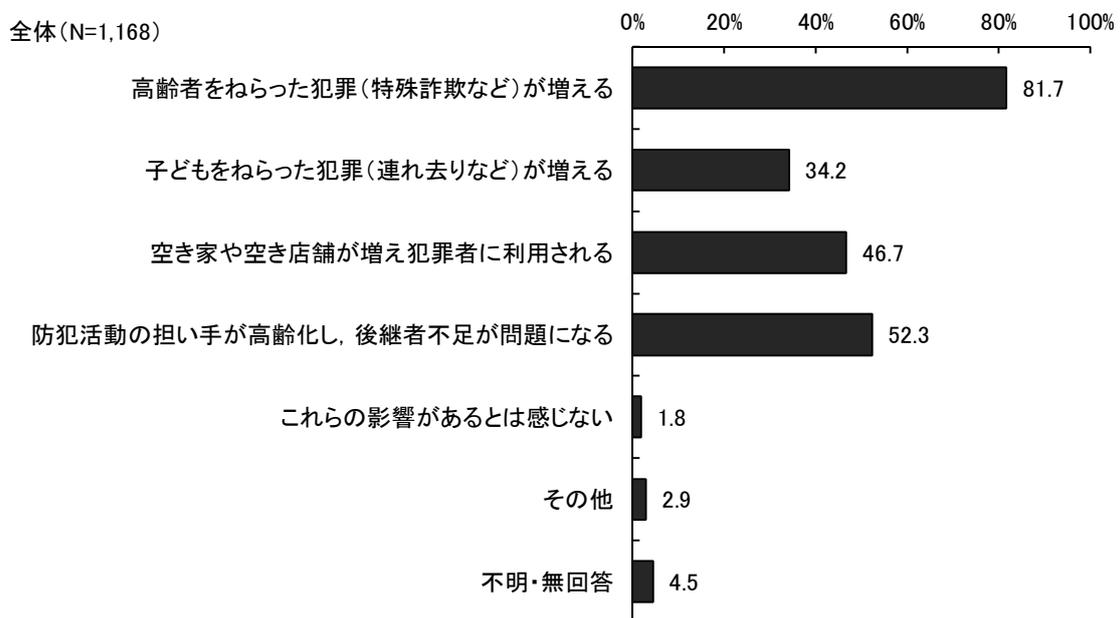
分類	件数	分類	件数
インターネット	7	得る機会がない	2
職場	7	テレビの番組やCM	2
家族、友人・知人	6	ニュース	2
金融機関	4	その他	3
警察	3		

問 10 京都市を含め全国的に人口の減少傾向が続き、高齢者（65 歳以上）の人口割合が増加、子ども（14 歳以下）の人口割合が減少しており、今後もさらにこの傾向が続くと予想されます。あなたは、これらによって、どんな影響があると思いますか（〇はいくつでも）

【全体傾向】

「高齢者をねらった犯罪（特殊詐欺など）が増える」が 81.7%と最も高い。次いで「防犯活動の担い手が高齢化し、後継者不足が問題になる」が 52.3%、「空き家や空き店舗が増え犯罪者に利用される」が 46.7%と続いている。

「これらの影響があるとは感じない」は 1.8%となっており、ほとんどの人が何らかの影響があると考えている。



参考：「その他」の内容

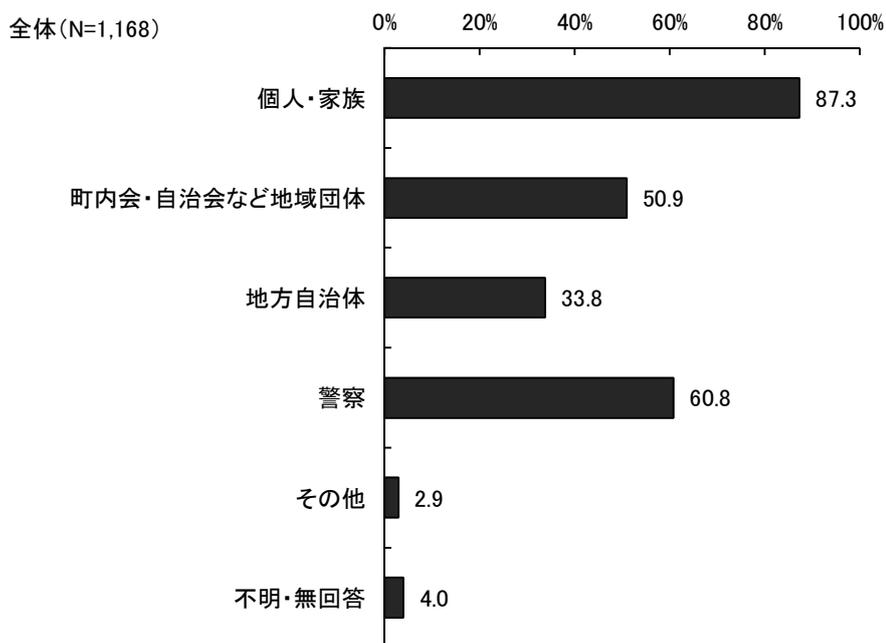
分類	件数	分類	件数
地域コミュニティの希薄化	6	年金に関する問題	3
交通事故や犯罪の増加	4	わからない	3
労働力や経済力の低下	4	子育て支援の減少	1
高齢者による事故や犯罪	3	その他	7

問 11 それでは、犯罪や迷惑行為の被害にあわないために、安心安全対策をすべき主体はどれだと思いますか（〇はいくつでも）

【全体傾向】

「個人・家族」が87.3%と最も高い。次いで「警察」が60.8%、「町内会・自治会など地域団体」が50.9%と続いている。

「個人・家族」を選択しなかった人も約9%みられ、そのうちの4割弱が70歳以上となっている。より多くの方が、被害にあわないための対策を自分自身のことと捉えて行動できるような取組が必要であると考えられる。



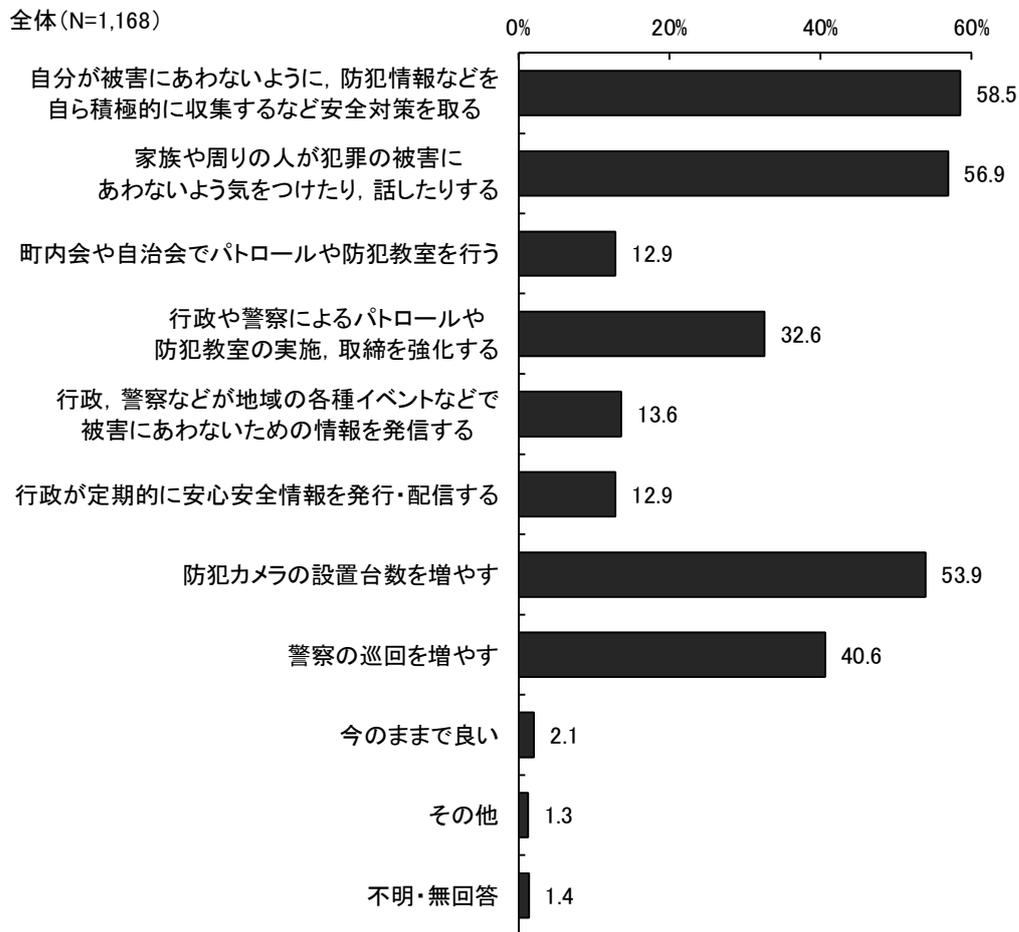
参考：「その他」の内容

分類	件数
国，政府	12
地域	7
民間企業	6
学校	5
その他	8

問 12 安心安全の取組として、次のどれがよいと思いますか（〇は3つまで）

【全体傾向】

「自分が被害にあわないように、防犯情報などを自ら積極的に収集するなど安全対策を取る」が58.5%と最も高い。次いで「家族や周りの人が犯罪の被害にあわないよう気をつけたり、話したりする」が56.9%、「防犯カメラの設置台数を増やす」が53.9%と続いている。



参考：「その他」の内容

分類	件数
防犯関係 (加害者への厳罰化, 交番のあり方, 街灯の増加, など)	7
交通マナーの向上, 交通違反への取締りの強化	1
清掃活動	1
その他	6

【年代別】※各年代上位3位のみを抜粋して掲載。

年代別では、“70歳以上”において「防犯カメラの設置台数を増やす」が最も高く、“18～29歳”“60歳代”においても上位2位となっている。

“30歳代”～“50歳代”においては、「自分が被害にあわないように防犯情報などを自ら積極的に収集するなど安全対策を取る」「家族や周りの人が犯罪の被害にあわないよう気をつけたり、話したりする」が上位1位・2位（“40歳代”については同率）を占めており、周りに頼るより、自分自身が防犯力を高めたいうえで、周囲にも注意喚起していく傾向にある。

	18～29歳(N=95)		30歳代(N=128)	
	項目	件数	項目	件数
		%		%
第1位	自分が被害にあわないように、防犯情報などを自ら積極的に収集するなど安全対策を取る	54	家族や周りの人が犯罪の被害にあわないよう気をつけたり、話したりする	85
		56.8		66.4
第2位	防犯カメラの設置台数を増やす	46	自分が被害にあわないように、防犯情報などを自ら積極的に収集するなど安全対策を取る	81
		48.4		63.3
第3位	家族や周りの人が犯罪の被害にあわないよう気をつけたり、話したりする	42	防犯カメラの設置台数を増やす	72
		44.2		56.3
	40歳代(N=198)		50歳代(N=188)	
	項目	件数	項目	件数
		%		%
第1位	自分が被害にあわないように、防犯情報などを自ら積極的に収集するなど安全対策を取る	127	家族や周りの人が犯罪の被害にあわないよう気をつけたり、話したりする	124
		64.1		66.0
第2位	家族や周りの人が犯罪の被害にあわないよう気をつけたり、話したりする	127	自分が被害にあわないように、防犯情報などを自ら積極的に収集するなど安全対策を取る	111
		64.1		59.0
第3位	防犯カメラの設置台数を増やす	102	防犯カメラの設置台数を増やす	100
		51.5		53.2
	60歳代(N=212)		70歳以上(N=331)	
	項目	件数	項目	件数
		%		%
第1位	自分が被害にあわないように、防犯情報などを自ら積極的に収集するなど安全対策を取る	124	防犯カメラの設置台数を増やす	187
		58.5		56.5
第2位	防犯カメラの設置台数を増やす	118	自分が被害にあわないように、防犯情報などを自ら積極的に収集するなど安全対策を取る	176
		55.7		53.2
第3位	家族や周りの人が犯罪の被害にあわないよう気をつけたり、話したりする	114	家族や周りの人が犯罪の被害にあわないよう気をつけたり、話したりする	164
		53.8		49.5

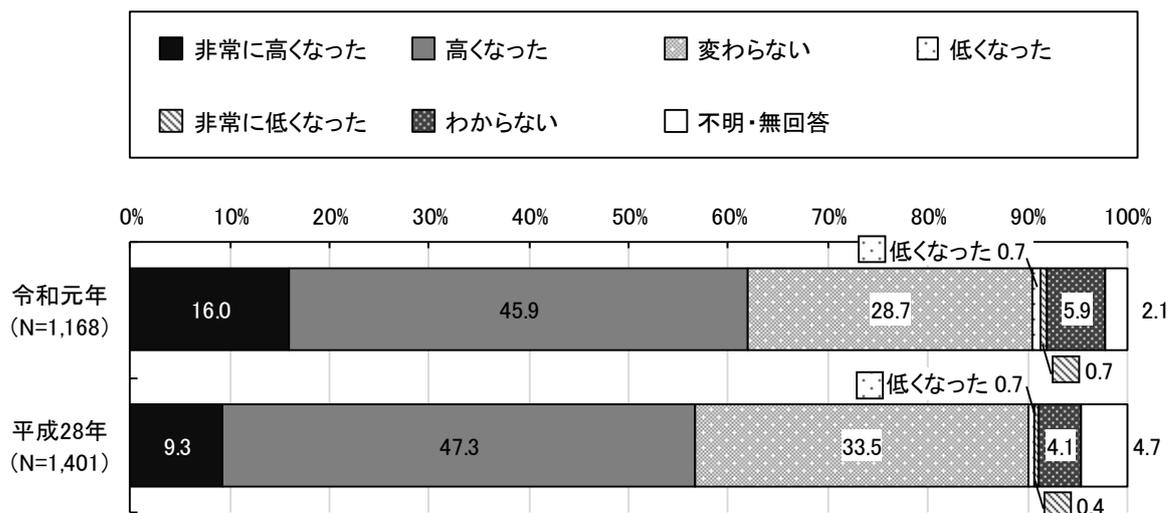
2. 交通事故に関する安心・安全について

問 13 あなたやあなたの家族が交通事故にあう可能性について、どのようにお感じですか（〇は1つだけ）

【全体傾向】

『高くなった』（「非常に高くなった」と「高くなった」の計）が61.9%、『低くなった』（「非常に低くなった」と「低くなった」の計）が1.4%となっている。

平成28年と比較すると、ほぼ差はなく、引き続き、様々な交通安全対策を進めていく必要がある。

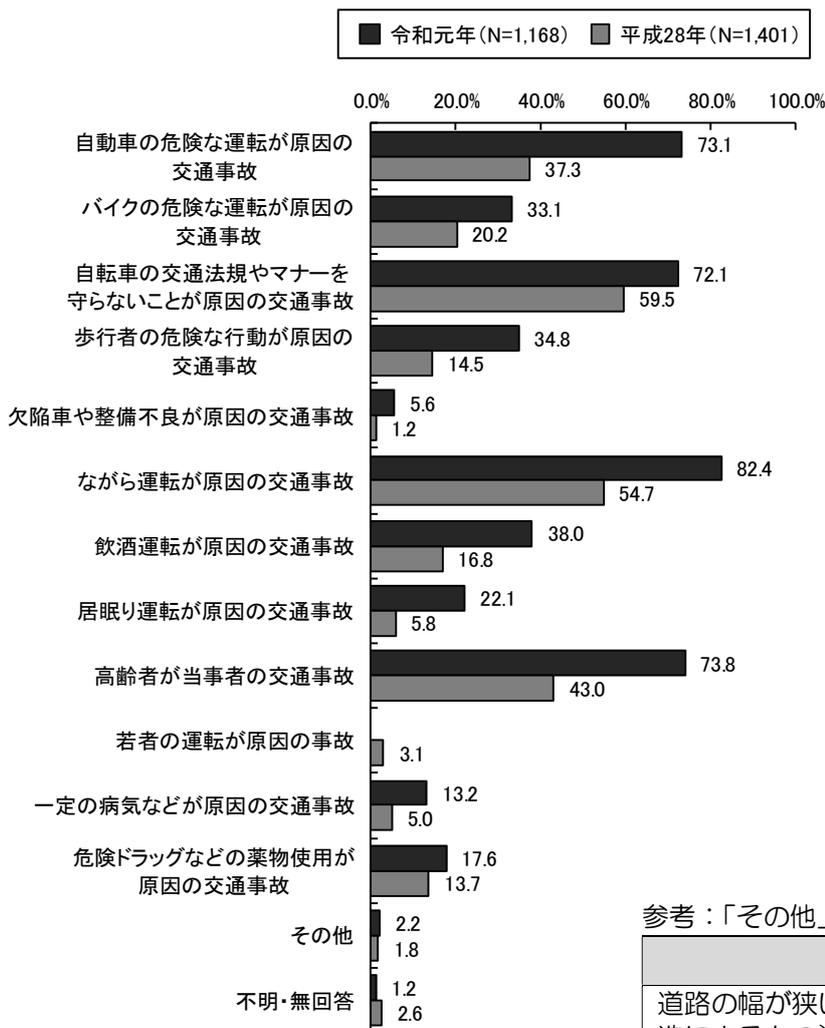


問 14 あなたが特に不安を感じる交通事故とは、どのようなものですか
(〇はいくつでも)

【全体傾向】

「ながら運転が原因の交通事故」が 82.4%と最も高い。次いで「高齢者が当事者の交通事故」が 73.8%、「自動車の危険な運転が原因の交通事故」が 73.1%と続いている。

平成 28 年と比較すると、上記の 3 項目をはじめ、多数の項目で大きく上昇している。



参考：「その他」の内容

分類	件数
道路の幅が狭い（路上駐車によるもの、道路構造によるもの）	6
無免許運転や判断ミスによる事故	5
あおり運転など自動車の危険な運転	4
外国人の交通マナー違反、ルールの無知	3
交通マナー違反	2
自転車の車道逆走による自転車同士の接触事故	1
その他	3

※「若者の運転が原因の事故」は平成 28 年のみの選択肢。

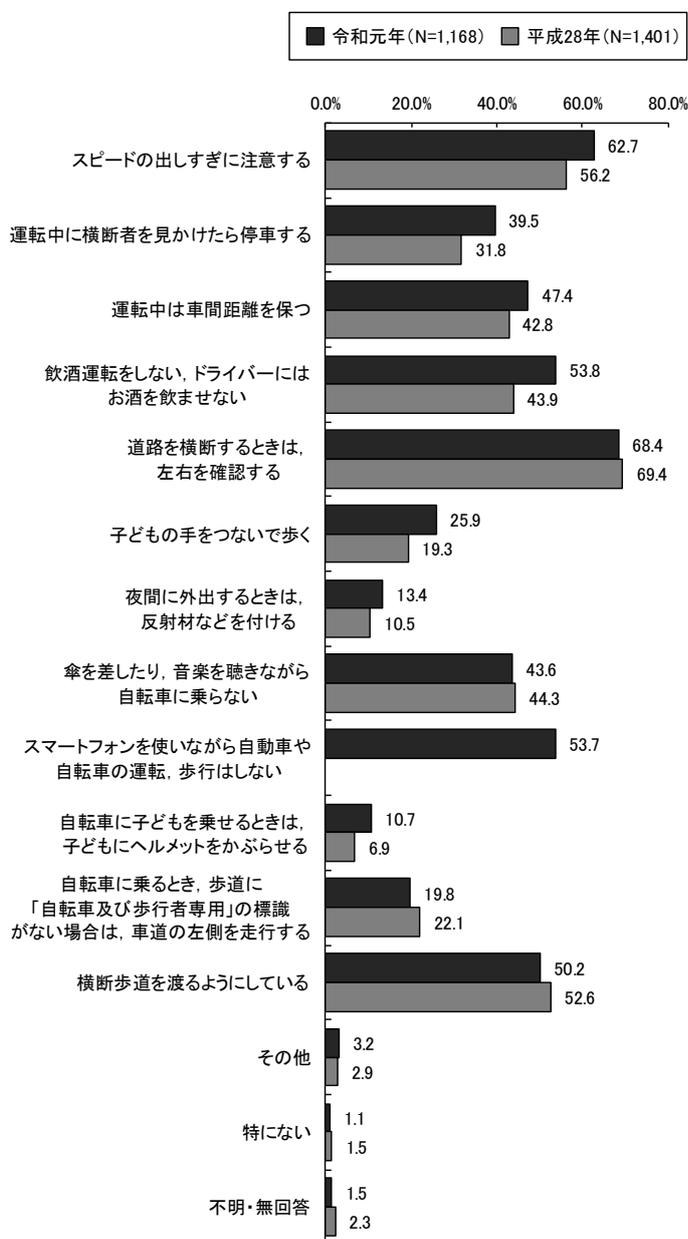
問 15 日常生活で、交通事故にあわないよう、日頃あなたが心がけていること、取り組んでいることは何ですか（〇はいくつでも）

【全体傾向】

「道路を横断するときは、左右を確認する」が 68.4%と最も高い。次いで「スピードの出しすぎに注意する」が 62.7%となっている。

「飲酒運転をしない、ドライバーにはお酒を飲ませない」「傘を差したり、音楽を聴きながら自転車に乗らない」「スマートフォンを使いながら自動車や自転車の運転、歩行はしない」「横断歩道を渡るようにしている」について、当然守るべき行為の心がけ・取組が半数程度またはそれ以下となっているため、更なる交通ルール順守の意識啓発が必要である。

前回調査と比較すると、「飲酒運転をしない、ドライバーにはお酒を飲ませない」が 9.9 ポイント増加している。



参考：「その他」の内容

分類	件数
自動車・自転車に乗らない	12
交通ルール・マナー全般の取組（人・自転車・自動車それぞれの距離を空ける、接近しすぎない、無理なことはしない、など）	6
自動車運転時等の取組（横断・右左折時に周囲のドライバーの動きに注意する、危険運転の車は避けて運転する、など）	6
自転車運転時等の取組（ヘルメットを着用する、夜間はライトを点灯する、など）	5
その他	12

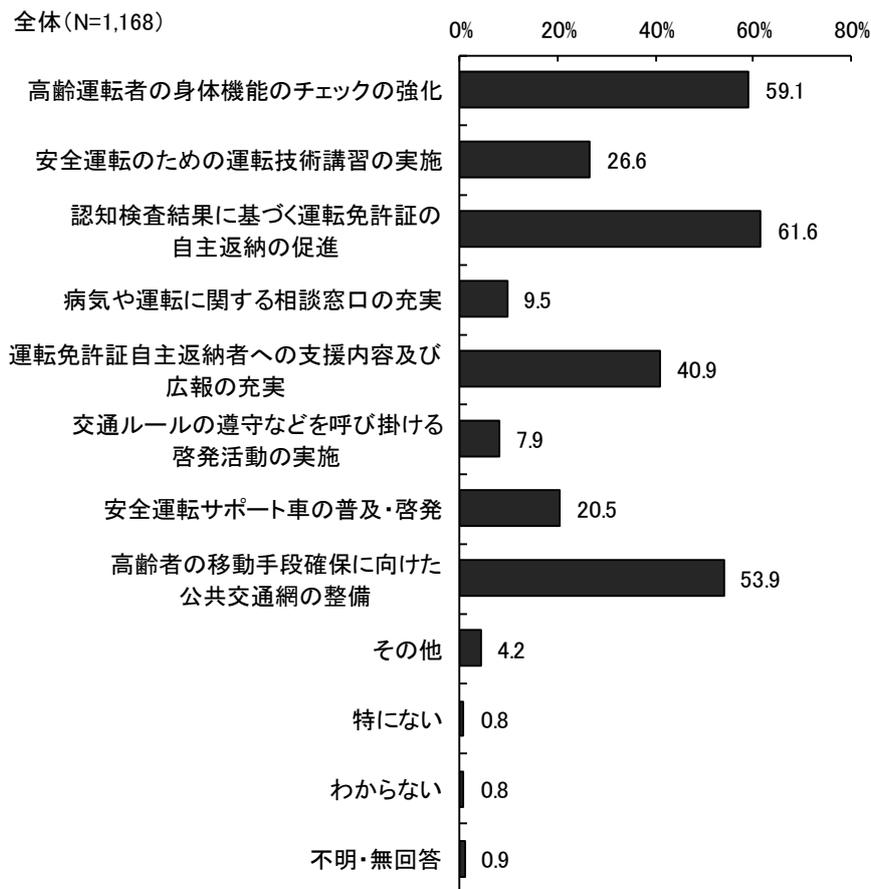
※ 「スマートフォンを使いながら自動車や自転車の運転、歩行はしない」は令和元年のみの選択肢であり、平成 28 年は「傘を差したり、スマートフォンを使いながら、自転車に乗らない」と表記。

問 16 高齢運転者による交通事故の割合が増加しています。高齢運転者の事故を防ぐために、あなたが重要だと思うことは何ですか（〇は3つまで）

【全体傾向】

「認知検査結果に基づく運転免許証の自主返納の促進」が61.6%と最も高い。次いで「高齢運転者の身体機能のチェックの強化」が59.1%、「高齢者の移動手段確保に向けた公共交通網の整備」が53.9%と続いている。

何らかの検査などによる運転能力の確認や運転免許証の自主返納の促進が必要と考える人、運転免許証返納者や運転免許証を持たない人が不便でなく公共交通機関による移動が可能となることが必要と考える人が半数を超えている。



参考：「その他」の内容

分類	件数
運転免許の取得・所持の制限（年齢制限、各種試験の受験とその結果による制限を設ける、など）	19
運転免許証返納後のサポートを充実させる	8
本人や家族の意識改革を行う	5
機能の制限やサポートが設定されている自動車にのみ乗れるようにする	5
その他	9

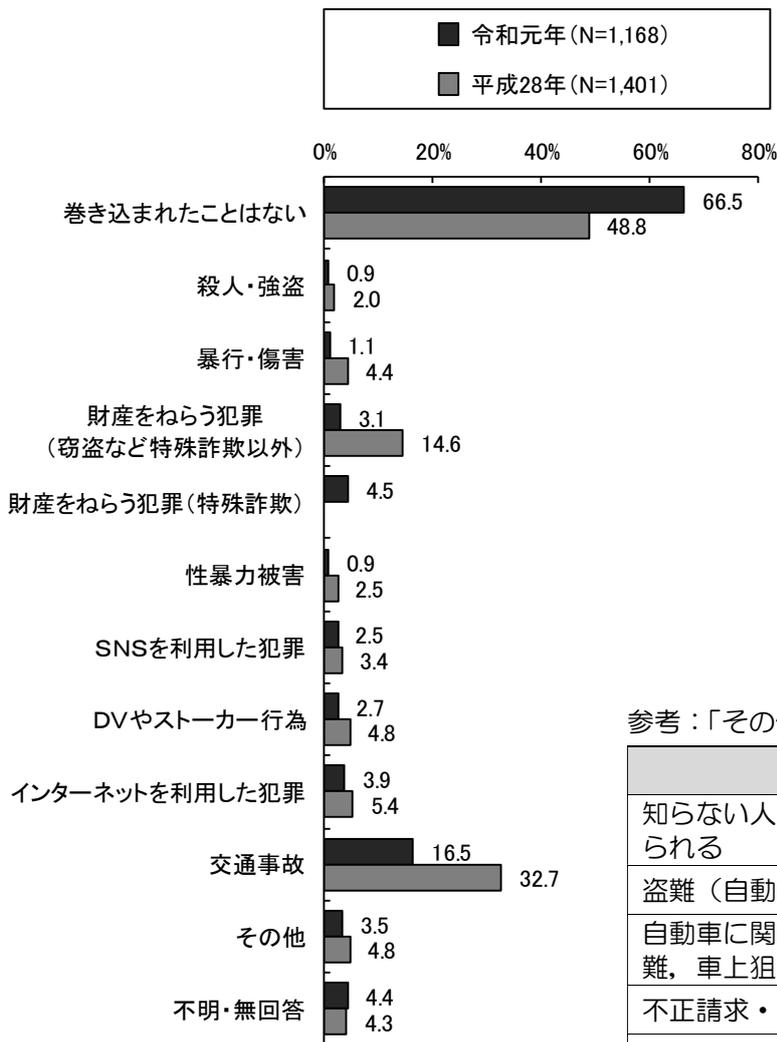
3. 犯罪被害者支援について

問 17 あなたや周りの方がこれまで（過去5年間）に次のような犯罪に巻き込まれたことはありますか（〇はいくつでも）

【全体傾向】

「巻き込まれたことはない」が66.5%と最も高い。次いで「交通事故」が16.5%、「財産をねらう犯罪（特殊詐欺）」が4.5%と続いている。

平成28年と比較すると、「交通事故」が16.2ポイント減少した。



参考：「その他」の内容

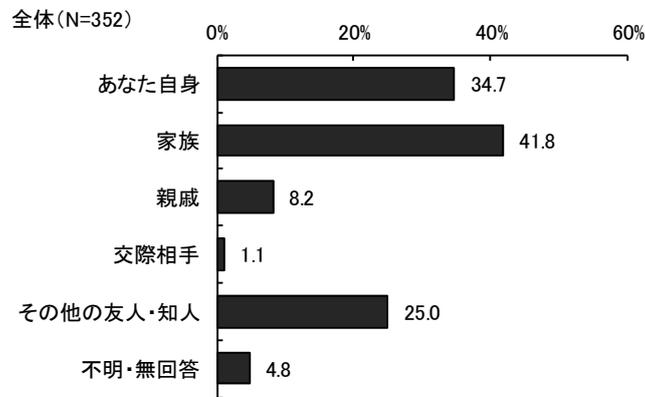
分類	件数
知らない人につきまとわれる・話しかけられる	5
盗難（自動車以外）	5
自動車に関する犯罪，事故（自動車盗難，車上狙い，など）	4
不正請求・クレジットカードの不正利用	4
脅迫・恐喝，パワーハラスメント，暴言	4
自転車に関する犯罪，事故（停止車両間からの自転車の飛び出し，など）	3
不法侵入	2
その他	7

※前回調査では、「財産をねらう罪」は「財産をねらう犯罪（窃盗や特殊詐欺など）」の1択のみ。

問 18 問 17 の犯罪に巻き込まれたことがあるのは誰ですか（〇はいくつでも）

【全体傾向】

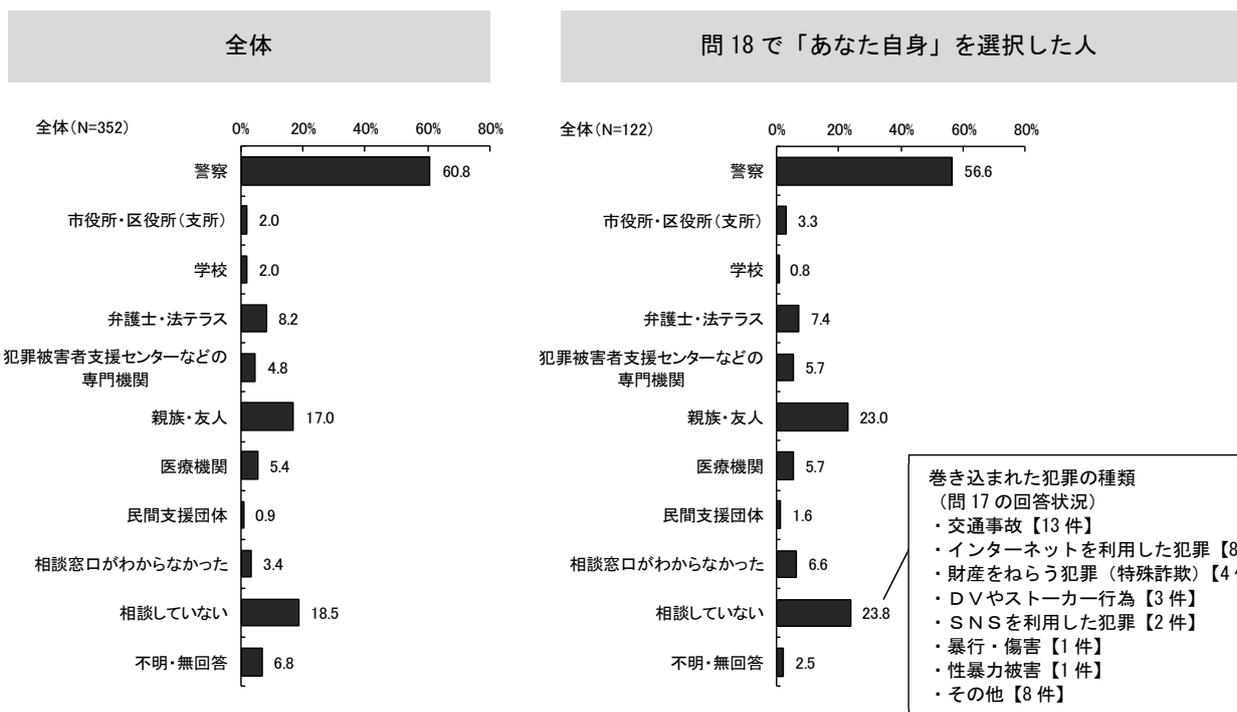
「家族」が41.8%と最も高い。次いで「あなた自身」が34.7%、「その他の友人・知人」が25.0%と続いている。



問 19 問 17 で回答された犯罪に巻き込まれたときに、どこに相談に行きましたか（〇はいくつでも）

【全体傾向】

「警察」が60.8%と最も高い。次いで「相談していない」が18.5%、「親族・友人」が17.0%と続いている。「犯罪被害者支援センターなどの専門機関」と回答した人は4.8%と低い。また、回答者自身が犯罪に巻き込まれたときに「相談していない」という回答が2割以上となっており、引き続き、相談窓口の周知に努めるとともに、専門機関への相談につながらない実情を把握していく必要がある。



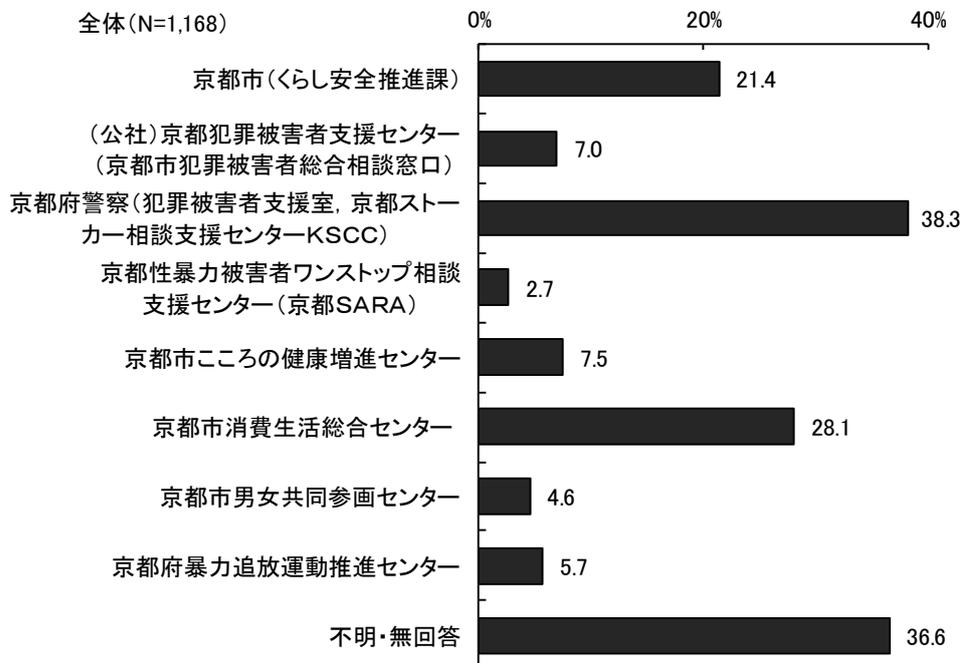
問 20 各種の被害にあったときの相談機関で知っているものはありますか
(〇はいくつでも)

【全体傾向】

「京都府警察（犯罪被害者支援室，京都ストーカー相談支援センターKSCC）」が38.3%と最も高い。次いで「京都市消費生活総合センター」が28.1%，「京都市（くらし安全推進課）」が21.4%と続いている。

「(公社) 京都犯罪被害者支援センター（京都市犯罪被害者総合相談窓口）」が7.0%と低く，引き続き，相談窓口の周知・認知度向上に取り組む必要があると考えられる。

いずれの相談機関も選択しなかった人（「不明・無回答」）のうち，前述の問 17 の犯罪に巻き込まれたことがある人は約 3 割となっている。「あなた（回答者）自身」や「家族」が巻き込まれたという人はそれぞれ 1 割程度となっており，被害にあったときの相談機関について広く周知に努める必要がある。



問 20 の不明・無回答 (N=428) のうち，
問 17 の犯罪に巻き込まれたことがある人

(N=428)		件数	%
巻き込まれた経験がある		127	29.7
問 18 巻き 込ま れた 人	あなた（回答者）自身	51	11.9
	家族	51	11.9
	親戚	6	1.4
	交際相手	3	0.7
	その他の友人・知人	29	6.8

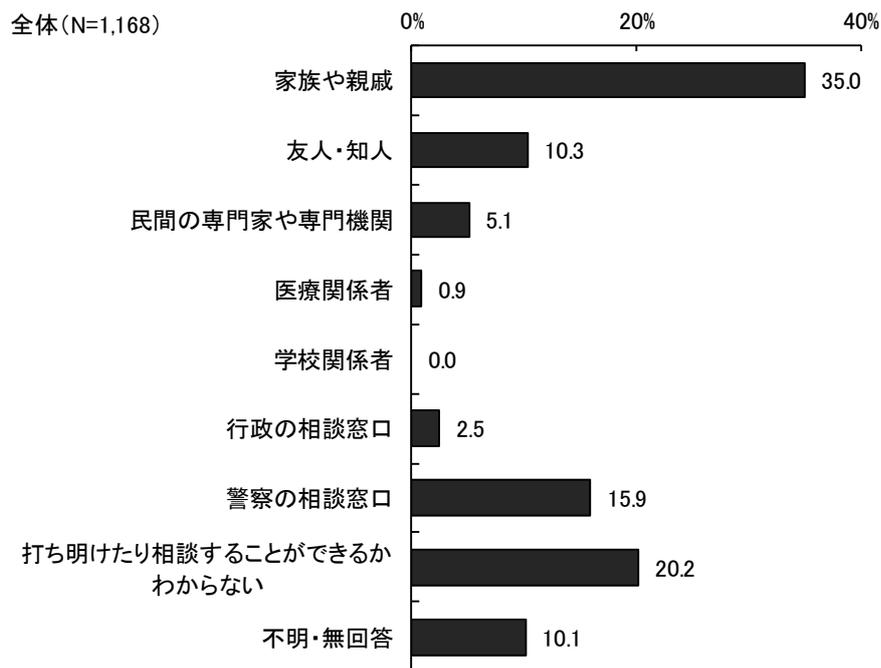
※問 18 は複数回答のため，合計は N=127 と一致しない。

問 21 あなたが、レイプ、ストーカー行為、配偶者からの暴力などの性犯罪等の被害にあった場合、誰かに打ち明けたり相談したりしますか（〇は1つだけ）

【全体傾向】

「家族や親戚」が 35.0%と最も高い。次いで「打ち明けたり相談することができるかわからない」が 20.2%、「警察の相談窓口」が 15.9%と続いている。

「打ち明けたり相談することができるかわからない」が 20.2%となっており、若干ではあるが、男性と比べて女性の方が被害にあった際に相談できるかわからないと答える傾向にある。相談しやすい環境整備や専門相談機関の周知啓発のほか、被害者に寄り添った対応が必要であると考えられる。

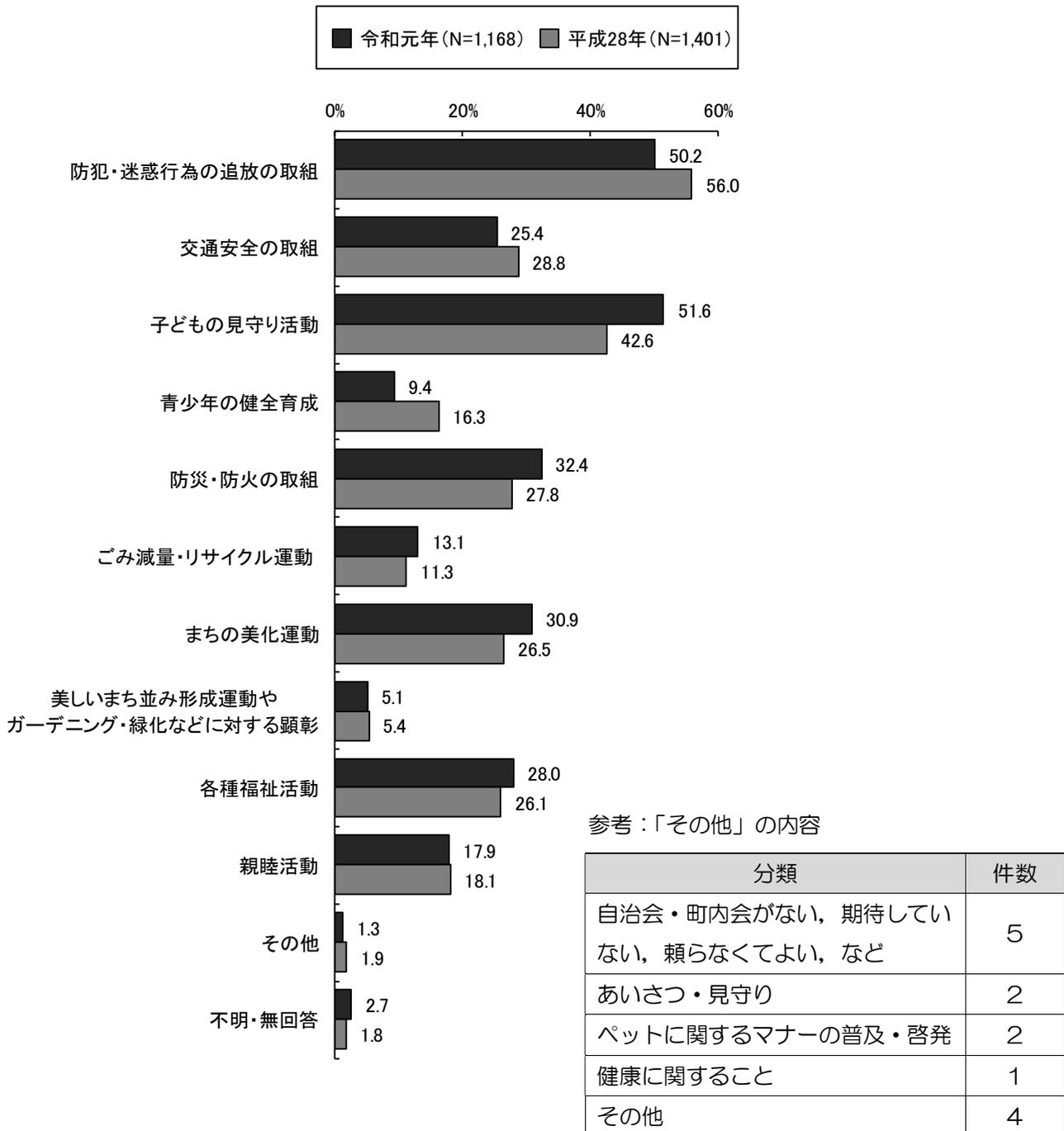


4. 地域による防犯・交通事故防止について

問 22 地域（自治会・町内会など）活動で、特に大切だと思う活動は何ですか
（〇は3つまで）

【全体傾向】

「子どもの見守り活動」が51.6%と最も高く、前回調査より9ポイント増加している。次いで「防犯・迷惑行為の追放の取組」が50.2%、「防災・防火の取組」が32.4%と続いている。



【年代別】※各年代上位3位のみを抜粋して掲載。

年代別では、いわゆる子育て世代や孫がいる世代である“30歳代”～“60歳代”において「子どもの見守り活動」が大切と思う割合が最も高い。

“18～29歳”“60歳代”“70歳代以上”においては、「防犯・迷惑行為の追放の取組」が大切と思う割合が最も高い。（“60歳代”は「子どもの見守り活動」と「防犯・迷惑行為の追放の取組」が同率）

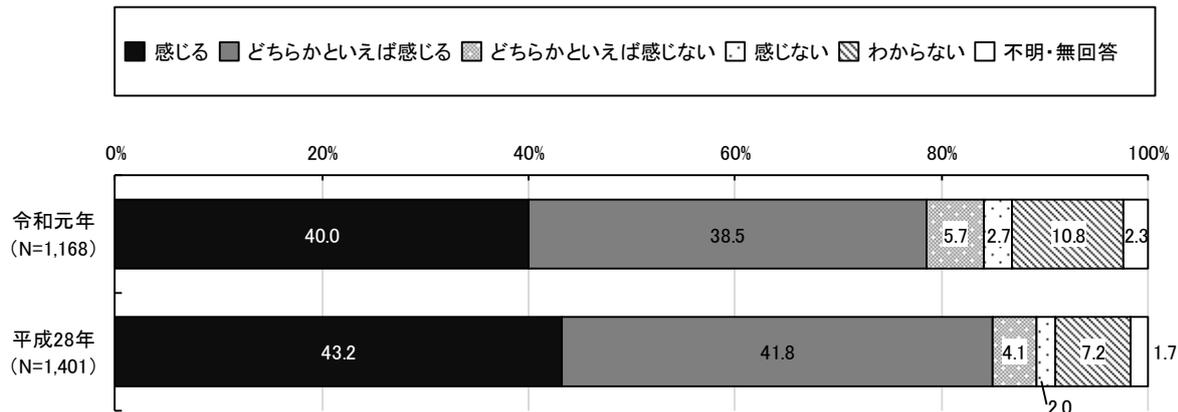
	18～29歳(N=95)		30歳代(N=128)	
	項目	件数	項目	件数
		%		%
第1位	防犯・迷惑行為の追放の取組	51	子どもの見守り活動	89
		53.7		69.5
第2位	子どもの見守り活動	49	防犯・迷惑行為の追放の取組	66
		51.6		51.6
第3位	各種福祉活動	31	交通安全の取組	47
		32.6		36.7
	40歳代(N=198)		50歳代(N=188)	
	項目	件数	項目	件数
		%		%
第1位	子どもの見守り活動	121	子どもの見守り活動	104
		61.1		55.3
第2位	防犯・迷惑行為の追放の取組	98	防犯・迷惑行為の追放の取組	93
		49.5		49.5
第3位	まちの美化運動	66	防災・防火の取組	80
		33.3		42.6
	60歳代(N=212)		70歳以上(N=331)	
	項目	件数	項目	件数
		%		%
第1位	子どもの見守り活動	108	防犯・迷惑行為の追放の取組	163
		50.9		49.2
第2位	防犯・迷惑行為の追放の取組	108	子どもの見守り活動	127
		50.9		38.4
第3位	まちの美化運動	82	防災・防火の取組	126
		38.7		38.1

問 23 あなたは、地域（自治会・町内会など）の人々が防犯・交通事故防止の面で協力する必要性を感じますか（〇は1つだけ）

【全体傾向】

『感じる』（「感じる」と「どちらかといえば感じる」の計）が78.5%、『感じない』（「感じない」と「どちらかといえば感じない」の計）は8.4%となっている。

平成28年と比較すると、『感じる』は6.5ポイント減少しているものの、8割近くの人々が地域の人々の協力が必要であると感じている。

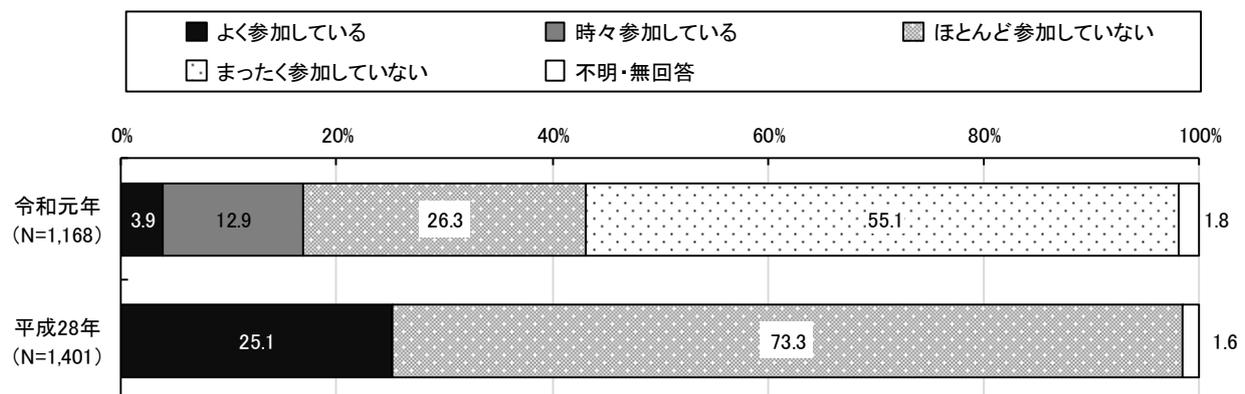


問 24 あなたは、この1年間の間で地域（自治会・町内会など）の人々による防犯・交通事故防止の面での活動に参加していますか（〇は1つだけ）

【全体傾向】

『参加している』（「よく参加している」と「時々参加している」の計）が16.8%、『参加していない』（「まったく参加していない」と「ほとんど参加していない」の計）は81.4%となっている。

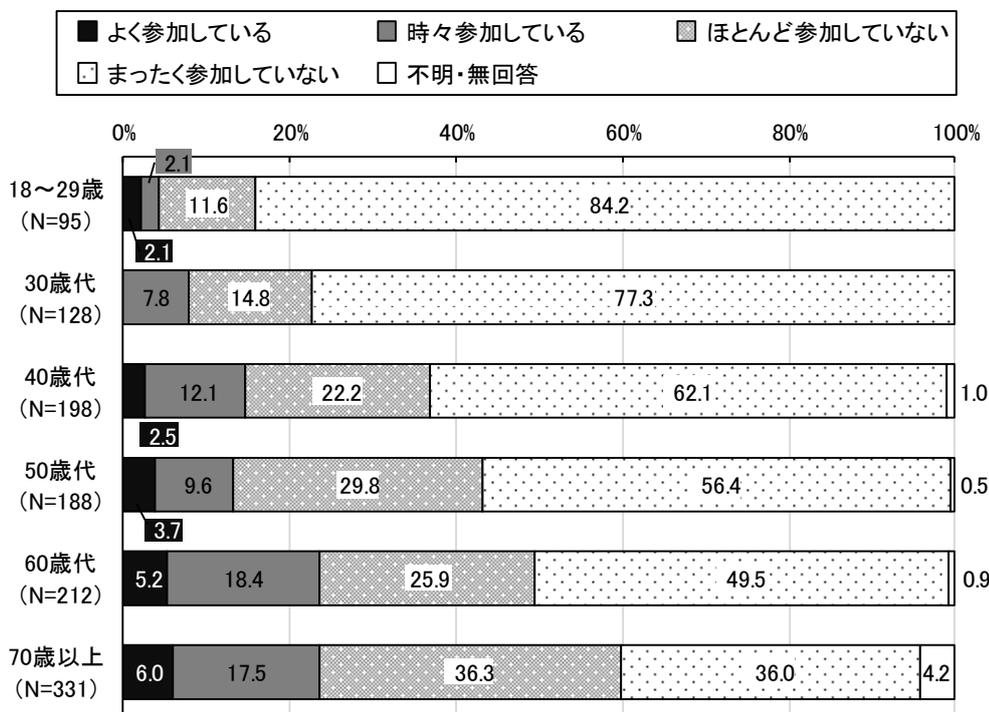
平成28年と比較すると、『参加している』は8.3ポイント低下している。



※平成28年の選択肢は「参加している」「参加していない」の2択でした。

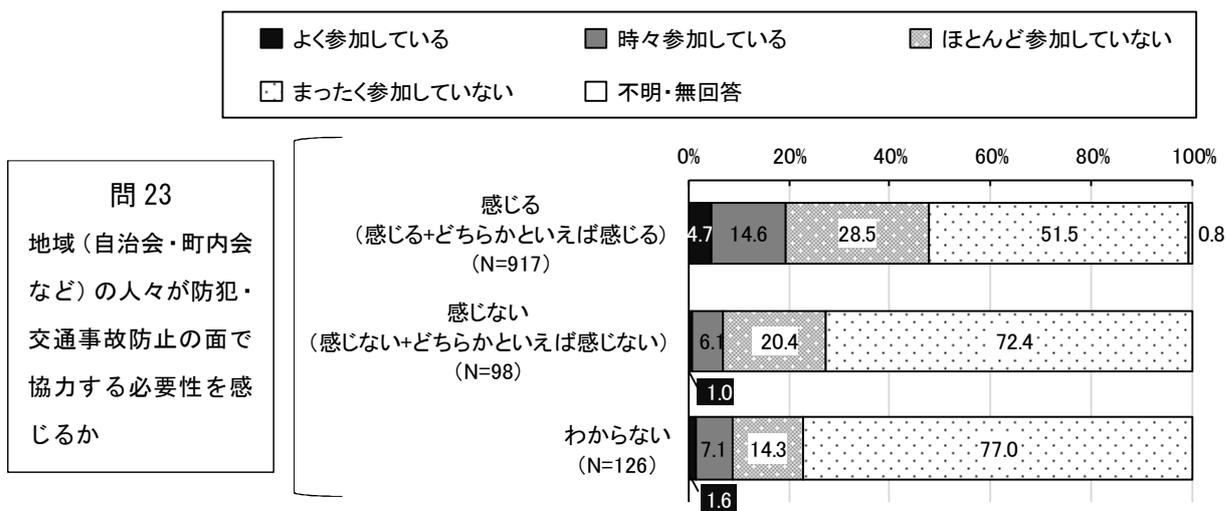
【年代別】

年代別に見ると，“18～29 歳”において「まったく参加していない」が8割以上と最も高く，年代が上がるにつれて，その比率が低下する傾向にある。



【問 23 防犯・交通事故防止に関する地域の協力の必要性への意識別】

問 23 で地域の協力の必要性を“感じる”と回答した人でも，活動に『参加している』人は約2割にとどまっております，地域の協力が必要だと感じていても，ほとんどの人は実際の活動に結びついていないことがわかる。



問 25 （問 24 で「よく参加している」「時々参加している」と答えた方）どんな活動に参加されていますか（自由記述）

【全体傾向】

自由記述の内容を分類すると、「子どもの見守り・声かけ・パトロール活動」が 60 件と最も多い。次いで、「防災・防火活動」が 38 件、「自治会・町内会などの活動」が 19 件と続いている。

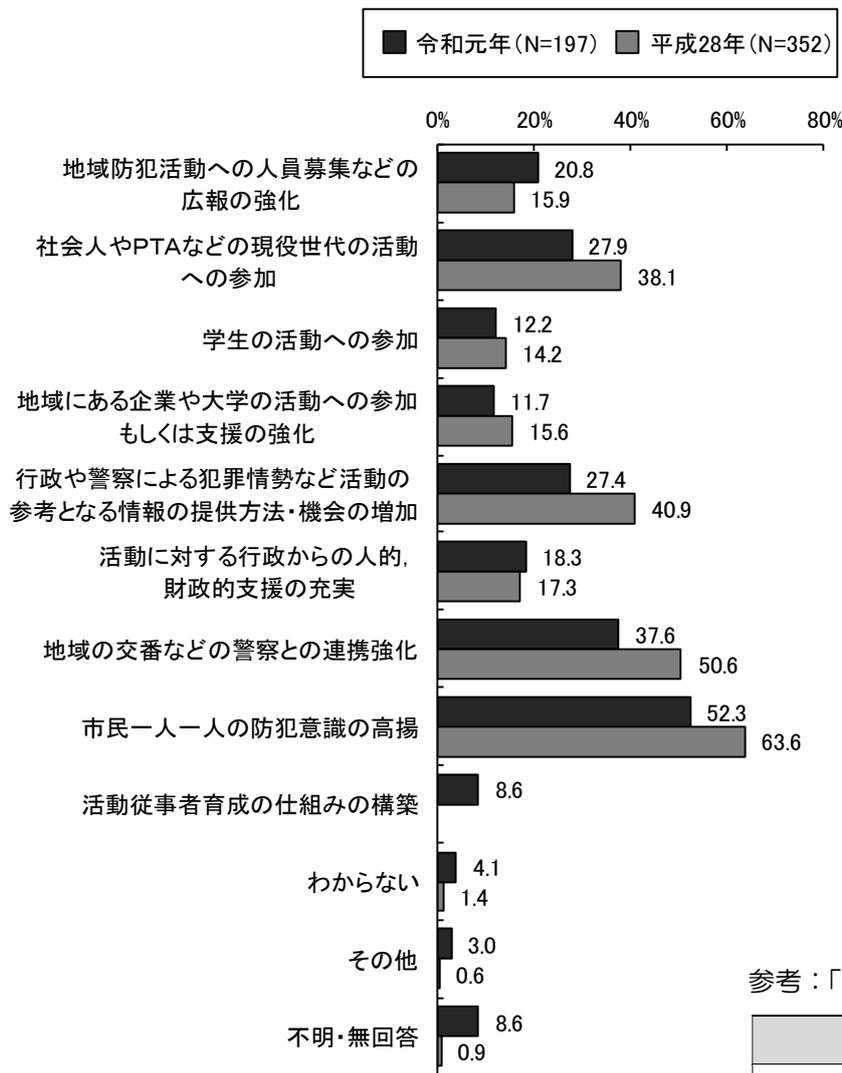
分類	件数
子どもの見守り・声かけ・パトロール活動	60
防災・防火活動	38
自治会・町内会などの活動	19
防犯・迷惑行為防止活動	16
親睦活動・地域の行事などの活動	14
交通安全活動	12
清掃活動	11
各種福祉活動	10
救命救急講習活動	2
その他	9

問 26 (問 24 で「よく参加している」「時々参加している」と答えた方) 地域防犯活動・交通事故防止活動をさらに強化するには、どのようなことが課題だと思いませんか(〇は3つまで)

【全体傾向】

「市民一人一人の防犯意識の高揚」が 52.3%と最も高い。次いで「地域の交番などの警察との連携強化」が 37.6%、「社会人やPTAなどの現役世代の活動への参加」が 27.9%と続いている。

平成 28 年と比較すると、上記の 3 項目のほか、「行政や警察による犯罪情勢など活動の参考となる情報の提供方法・機会の増加」で 10 ポイント以上低下している。



参考：「その他」の内容

分類	件数
警察の協力	2
労働環境の改善（地域活動へ参加する時間が持てるように）	2
町内会自身の活動	1
その他	2

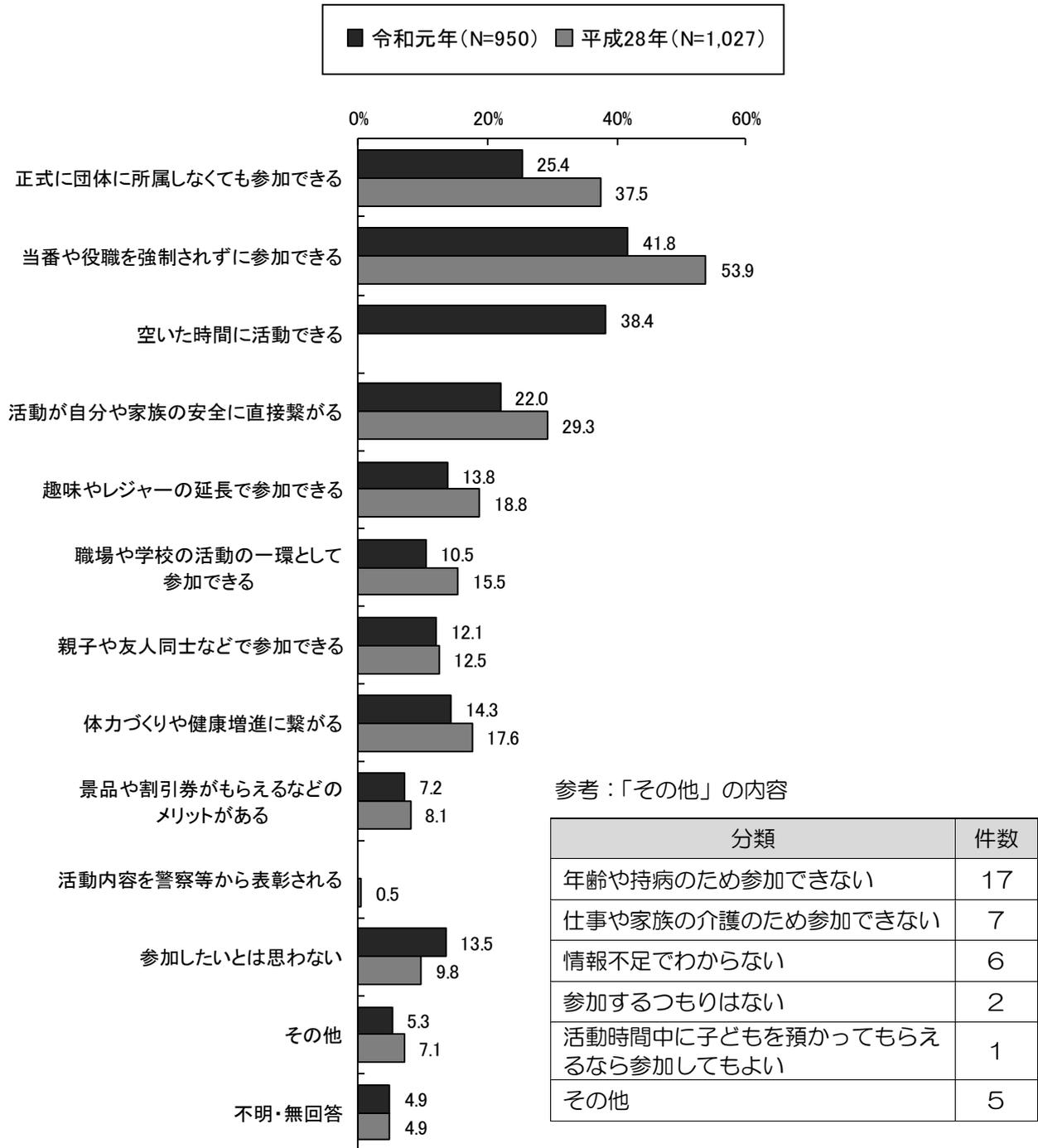
※「活動従事者育成の仕組みの構築」は令和元年のみの選択肢。

問 27 どのような地域活動であれば参加してもよいと思いますか（〇は3つまで）

【全体傾向】

「当番や役職を強制されずに参加できる」が 41.8%と最も高い。次いで「空いた時間に活動できる」が 38.4%、「正式に団体に所属しなくても参加できる」が 25.4%と続いている。

平成 28 年と比較すると、「参加したいとは思わない」が若干高くなっている。「正式に団体に所属しなくても参加できる」「当番や役職を強制されずに参加できる」は 10 ポイント以上低下している。



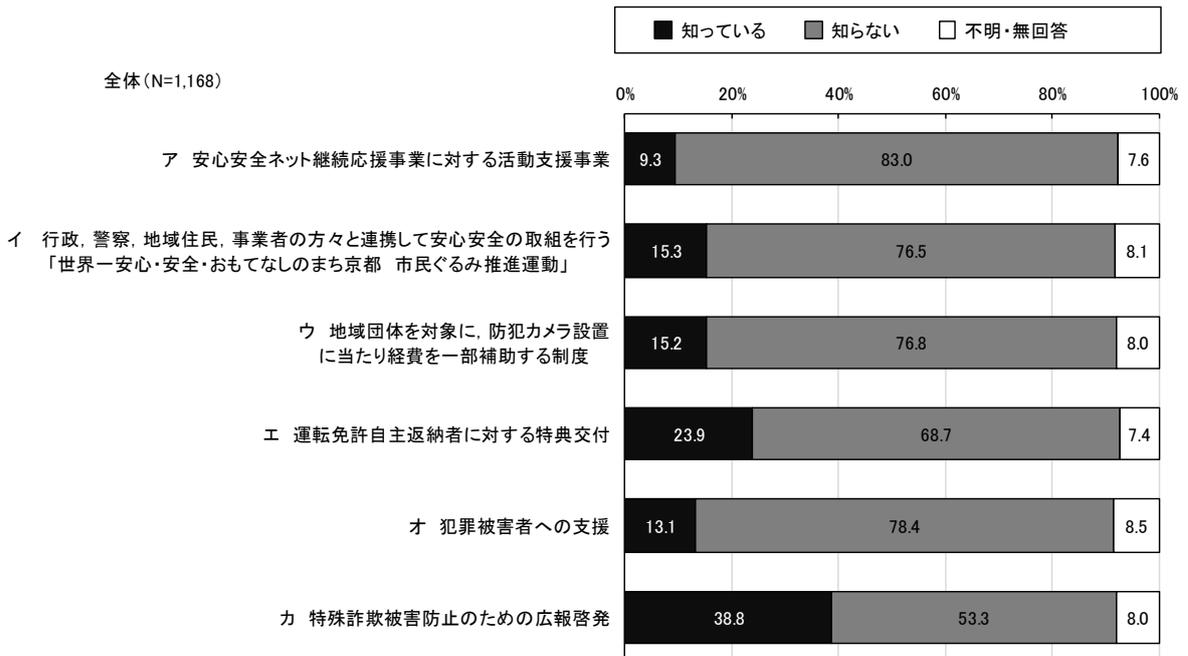
※「空いた時間に活動できる」は令和元年のみ、「活動内容を警察等から表彰される」は平成 28 年だけの選択肢。

5. 京都市の安心・安全の取組について

問 28-①ア～カ 京都市の安心・安全（防犯・交通事故防止分野）に関する次の取組について、知っていますか（それぞれどちらかに○）

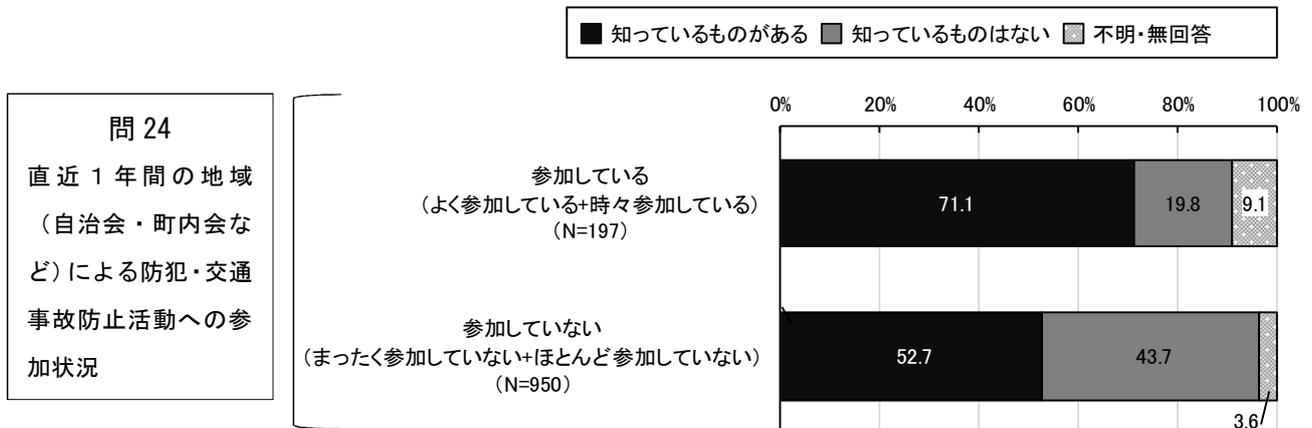
【全体傾向】

「知っている」は、「特殊詐欺被害防止のための広報啓発」が 38.8%、「運転免許自主返納者に対する特典交付」が 23.9%となっている。その他の項目は2割未満と続いている。



【問 28-①ア～カについて、1 つでも知っている取組があるか×問 24 で活動に参加していると答えた人】

参加状況の違いにより、認知度に差がみられるが、“参加している”でも「知っているものはない」が約 2 割となっている。

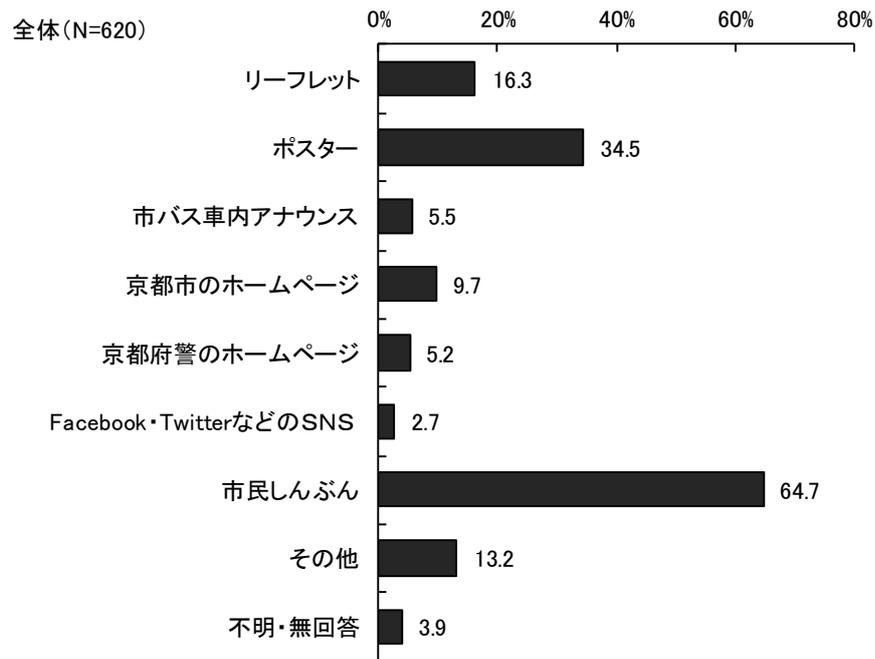


問 28-② ①で1つ以上「知っている」と答えた方におたずねします。何で知りましたか（〇はいくつでも）

【全体傾向】

「市民しんぶん」が64.7%と最も高い。次いで「ポスター」が34.5%、「リーフレット」が16.3%と続いている。

なお，“30 歳代”以下は「ポスター」と最も多く回答しており，“40 歳代”以上は「市民しんぶん」が最も多くなっている。



参考：「その他」の内容

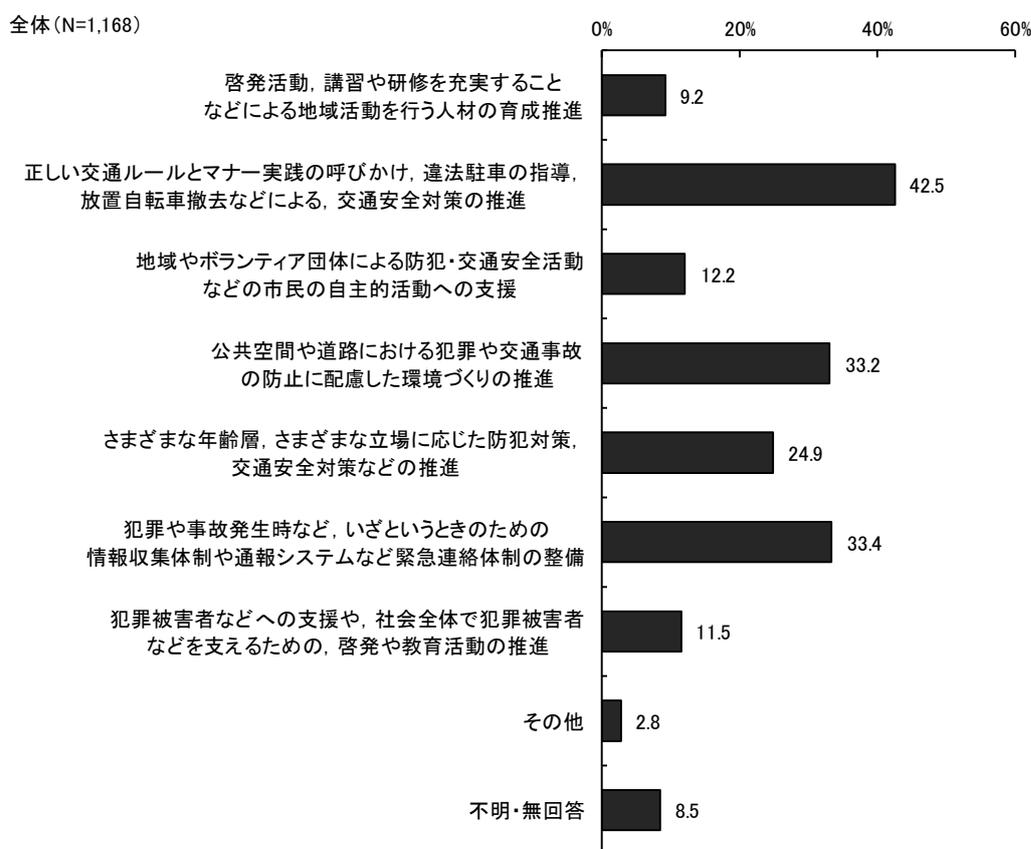
分類	件数	分類	件数
仕事や地域活動の関係で	17	金融機関	2
家族・友人・知人から	16	警察	2
テレビやラジオなどのメディア	12	裁判所	1
免許返納時に	7	法務局	1
回覧板	5	その他	8

6. 防犯・交通事故防止分野における安心・安全を実現するための総合的な取組について

問 29 犯罪や迷惑行為, 事故などの問題に関して, 市に取組を強化してほしいと思うことは何ですか (〇は2つまで)

【全体傾向】

「正しい交通ルールとマナー実践の呼びかけ, 違法駐車指導, 放置自転車撤去などによる, 交通安全対策の推進」が 42.5%と最も高い。次いで「犯罪や事故発生時など, いざというときのための情報収集体制や通報システムなど緊急連絡体制の整備」が 33.4%, 「公共空間や道路における犯罪や交通事故の防止に配慮した環境づくりの推進」が 33.2%と続いている。



参考: 「その他」の内容

分類	件数
警察に対するもの (市では難しいので警察のパトロール強化を, など)	11
防犯環境, 交通安全環境の整備に関するもの (防犯カメラの増設, 街灯の増設, 自転車講習の義務化, など)	5
迷惑行為に対するもの (動物の糞の罰金制度の周知, 訪日外国人へのマナー周知, など)	5
その他	7

問 30 犯罪や迷惑行為, 事故などの問題に関して, 市に取組を強化してほしいと思うことは何ですか (〇は2つまで)

1 地域住民同士のつながり, 協力について	件数
地域での子どもの見守り・声掛けが大切	3
地域住民同士挨拶をする	2
住民間が過疎になり, 自助・見守り機能が低下しているように感じる	1
地域の人と繋がれる多種多様な取組をして欲しい	1
子どもがのびのび生きていきやすい環境を大人がつくるべき	1

2 モラルの大切さやモラルに関する教育の充実	件数
モラルがない人, 女性・子どもに威圧的な態度を取る人が多い。さらなる教育・啓発活動が必要	3
一人一人がマナーを守る	2
市に取組を要望する前に, 各家庭や学校で道徳教育するべき	1

3 市民一人一人の防犯・交通事故防止意識の大切さ	件数
交通事故にあわないために一人一人がルールを守る。時間にゆとりを持つ	8
交通ルールや防犯など各家庭や学校で教育を徹底すべき	5
家の戸締り, 鍵をかける	1
SNSの使用上の注意喚起	1

4 観光バス・公共バス・タクシーの運転マナー等の向上	件数
大宮通り(九条~東寺道)で観光バスやトラックの時間調整の駐車が目に余る。3車線を見直し, 自転車用に1車線専用にして車両が入れないようにする等, 市内全体を見直すべきだ。歩くまち京都らしい道路にすれば事故も減らせるのでは	1
ホテルなどビルが立ち並び見通しが悪く, 観光バスも路肩に停車してさらに見通しが悪い。子ども達を安心して自転車で行かせられない	1
イタリアのローマのように, 大型バスの市内乗入れを全面禁止して, 小型バス等に乗換えによる市内観光の推進をお願いする	1
市バスのマナーの悪さ(真横をスピードを落とさず走り抜けたり)が気になる。もっと個人個人が自分たちのマナーを見直す機会を設けては?	1

5 交通ルール・マナー意識の向上	件数
●歩行者	
歩行者の危険な道路横断（横断歩道のない場所での横断など）・信号無視・踏切の警笛無視、歩行者の危険で横暴な行動など交通違反が多い	10
歩きスマホが多い	4
歩行者の急な方向転換，飛び出しが増えた	1
●自転車	
自転車のスピードの出しすぎ，右側通行，歩道通行，信号無視，傘さし運転，スマホ・イヤホン使用，逆走，急な車道への飛び出し，一時停止無視，マナー違反（学生のながら運転など），路上駐車等が多く危険で怖い	41
自転車の正しい乗り方，交通ルール・マナーの講習をしてほしい	13
急いでいるのか，一度止まると漕ぎ出しが重いからなのか，一旦停止の所で止まらないなど，子どもを乗せたアシスト自転車の危険運転が目立つ	2
自転車も免許制にすべき	2
スポーツ型の自転車は免許と課税，速度制限が必要。安全に止まらない乗り物なので公道は走れないようにし，専用のサーキットで走行するべき	1
非常時にブレーキをかけられない体制で運転している若者がいる。自転車保険に入っているかも疑問	1
車道に自転車通行ゾーンを設けられたが，狭い京都では十分なスペースがとれておらず，本当に危険である。（自転車と車両の）双方が謙虚な意識を持っていないと本当に危ない状況である	1
車の運転が無茶苦茶な人が多い。ただ，逆に自分も含めた自転車のマナーもかなり悪いと思うのでお互いにイライラして負のスパイラルになっている。意識改革が必要	1
●バイク，自動車	
自動車やバイクの信号無視，標識がある箇所での一時停止，信号のない横断歩道で止まらない車（パトカーも止まらないことがある）が多い	9
自動車，トラック，バイク・スクーターのマナーが悪く，運転も乱暴でルールを守らない人が多い	7
自動車のながら運転（スマホなど）が多くなっている	4
スピードの出しすぎや狭い道でもスピードを落とさず，歩行者や自転車の横をすれすれで通るので危険	3
子どもの登校時間帯の通学路で，自動車がスピード出して通るので危険を感じる。学区や交通量に関わらず学校周辺は，スクールゾーンとして登下校の一定時間，自動車の通行を制限してほしい	2
老若男女問わず，右左折時に方向指示器を出さない車両が多くなった	2
あおり運転や高齢者の運転ミスが怖い。道を歩いていたら死んでしまう時代なのかと思ってしまう	2
黄色で止まれば右から抜いていく車多数にクラクションを鳴らされるなど，黄で止まるのが悪いような運転をする者が多い	1
横断歩道でも左折の車はとくにスピードを緩めないで，歩行者が車の停止を確認後に渡ることが多いので運転者はよく考えてほしい	1
高齢者はかなりの速度で走行することが多く，障害物があると警笛を鳴らして走行，ブレーキをかけないなど，自分本位の人が多い	1
60 km/h 制限の道路を 80 km/h で走行しても追い越されるなど危険を感じる	1

6 交通違反の取締強化	件数
取締強化（違法駐車，飲酒運転，暴走行や迷惑行為）	10
ながら運転やイヤホンの使用，夜間無灯火等，危険運転（自動車，バイク，自転車等）に対する厳罰化	8
一時停止の所で止まる車は皆無，歩行者が停まらないといけない。あまりにひどいので，取り締まって欲しい！	4
高齢者の無謀な道路の横断の罰則を設けてほしい	1
必要に応じて，交通整理をする人がいてほしい	1
自転車や歩行者の交通法規やマナーを守らない人への対策が消極的だ	1
自転車はエゴで便利で，京都市内移動には良い乗り物だと思うが，軽車両であることを知らない人が多いように感じます。車・バイクと同様に自転車の道路交通法での違反取締強化をお願いする	1

7 道路環境の整備，通行環境の改善 （防犯カメラの増設，街灯やカーブミラー等安全施設の増設等含む）	件数
街灯，電灯を増やしてほしい	19
通学路や道の暗い場所，公園などに防犯カメラを増設してほしい	12
歩道のない場所，歩道の狭い場所，ガタガタな場所もあって歩きづらく，ベビーカーも押しづらい	7
歩行者・自転車専用道路を作って欲しい	5
カーブミラーやガードレールを設置してほしい	4
各家庭に玄関灯の点灯を呼びかける	3
車イスで外出するときに段差が多すぎて苦しい。車いす用駐車場はお年寄りにとられており，本当に必要としている人が使えない。	3
自転車通行帯を拡大してほしい。自転車の道幅を広くして欲しい場所がある	2
三条通（蚕ノ社駅前～広隆寺区間）歩道がないのにバスまで通る	1
道路整備の工事をしても，道が平らでないと高齢者に負担になるし危ない	1
四条通などで歩行者優先により，車道が以前より狭くなり渋滞がひどく路上駐車もあり逆に事故が増える気がする。また，狭い道での民間バスの路線の増設が渋滞の原因となっており，今一度，道路整備を見直して頂きたい	1
京都の道路は渋滞がひどすぎる。特に四条通や師団街道は歩道を拡張したため渋滞している。元に戻して欲しい	1
京都市内は一方通行が多いが，最近は標識を無視する自動車が目に付くようになった。ひょっとしたら標識が認識しにくい位置にあるかもしれない。標識や看板を取り付けたら終わりという対策は意味がないように思う	1
山科は道幅が狭く，電柱に擦りそうになったり，避けるのに対向車とすれすれなことが運転していて気になる。大きなトラックもよく通り子どもの安全面も気になる	1
止まれの所に「自転車も止まれ」と標示をしている他府県がある。よいことだと思う	1
自転車が通れる，通れないの標記	1
住宅街の中の歩行者ゾーンの白いラインが完全に消えている所がある。車がすれすれに走行することがあり身の危険を感じる 때가度々あります。再塗装してほしい	1
自転車によく乗るが，（大分増えてきたことは実感しているが）駐輪場不足を感じる。ルールを守っていても，自転車走行レーンに路上駐車が駐車している。また，自転車走行レーンが途中で途切れていたり，逆向きに走りたいときに反対側か歩行者用の所を走らないといけないのも変だし，御池通りの歩道にある自転車レーンを歩行者が歩いているのも意味ない。自転車の多いまちだからこそ，もっとしっかりお互いを守れるようにしてほしい	1
自転車の専用レーンは車道に作られているが，大変危険だ。京都の狭い道路にはそぐわないし，渋滞や事故の原因になる	1

8 高齢者の運転適性検査・免許証返納制度の充実	件数
高齢者が免許返納後に交通弱者にならないための整備強化 高齢運転者は本人が免許返納して運転をやめたくても、障害のある子や高齢で足の悪い配偶者の病院の送迎や買い物、もしくは自分の通院のために「怖いけど運転している、せざるを得ない」人がたくさんいる。公共のバス・電車以外に公共のタクシーなど送迎の車が気軽に利用できるシステムがないと高齢者の交通事故はなかなか減らないと思う	2
高齢者の危険運転が最近よく目立つ。55歳または60歳以上を対象に運転適性検査をしてもらい、(最寄りの教習所や免許センター)検査官が危険だと判断した場合は免許証返納又は再検査するという取組を検討してほしい	1
高齢者が多すぎるので、道を歩くのがストレスだ。彼らの車の運転台数を減らして欲しい	1
運転免許の返納を拒否している父の運転が不安だ。家族より、マスコミや他者から促された方が効果があると思うので、そういう取組をして欲しい	1
高齢ドライバーの免許返納時の500円ギフトカード進呈はよい取組と思う。さらに一時的ではなく継続したお得感をもっとあるとよいかと思うのと、「返納お試し期間」を設けてはどうか	1
高齢者の運転を一定年齢以上は(75歳とか)禁止とし、公共交通機関すべて無料にし、タクシーチケットの配布などすべきと思う	1

9 交通安全その他	件数
旅行者の増加により、歩道がふさがり交通事故を引き起こしかねない。また、観光バスが路上に停車し、ただでさえ狭い道路がさらに通りにくくなって、交通事故の原因となりそう	1
車に同乗の際に私自身も周りを見る	1
堀川今出川上る西側のスーパーの駐輪について確認いただき、ただちにやめるよう指導して欲しい	1
バイクにも高齢者マークを付けて欲しい	1
車の流れが変化し、住宅の中でも工事用資材を多量に積んだダンプなどが通るようになり、交通事故が心配だ	1
未成年者(学生)への通学などの交通ルールの徹底	1
まだまだ自転車の位置付けが不明。自動車を毎日運転する私にとって自転車が、かなり危険な運転をしている場面がよくある。逆走などもっとルールがわかるものがあればよい	1
自転車専用走路における、バス・車・バイク運転者への正しい対応を免許を持っている人全員に説明する企画	1

10 公園の環境整備	件数
子どもや市民が安心して遊んだり、集まったりできる安全な公園を設置して欲しい	1

11 行政に対する要望等	件数
●防犯に関すること	
町内会などに、ボランティアのようなパトロールや防犯活動を強要するのではなく、しっかりと行政や警察が行って欲しい	3
もっと自治体・京都市・警察が情報共有し、不審者などを把握して連携した防犯の対策をとって欲しい	3
ドライブレコーダーなどの防犯グッズに補助金や助成金を出してほしい	2
特殊詐欺防止のために、踏み込んだ対策をお願いする	1
外国人居住の公営住宅の周辺は明るく、犯罪の起こりにくい環境にすることも必要だ	1
犯罪や事故を起こしても大抵、執行猶予とか不起訴になり効果なしだと思います	1
災害対応への自治体の責任	1

11 行政に対する要望等	件数
●交通安全に関すること	
高齢者の免許証返納制度の法改正をして欲しい（年齢の上限を決めるか、家族2人以上が同意すれば強制的に返納できるようにするなど）	4
免許返納に関する法律をつくって欲しい	2
安全設計がどれだけ進んでも100キロ出せば同じなので、交通事故防止にはスピードを出さない車の開発やすべて自動運転の車の開発も求められる。 また、子どもの学習・スポーツなど夜遅くまでの習い事が増えており、夜の子どもの安全を守る体制強化が必要	1
●外国人・観光に関すること	
観光客の交通意識・マナー向上	5
訪日外国人の増加により確実に治安が悪くなっていると思うので、これ以上の増加を防ぎ減少するようにしていただきたい。近い将来、東南アジア系の若者に身の危険を覚えることが増えるのではと思う。	3
観光のお陰で経済的に潤っても、観光のために壊された物はいくらお金を払っても戻ってこない。観光客による交通マナーの悪さで事故が起り、マナーを守っているドライバーが加害者になってしまうこともある。また、バスに乗ろうと思っても満員なのでお年寄りはお出しなくなるし、このような中で外出すれば交通事故に繋がるかもしれない	1
外国人居住の公営住宅の周辺は明るく、犯罪の起こりにくい環境にすることも必要だ	1
観光客増加による京都破壊	1
●その他	
本当に安心・安全な町、京都なのか。車イスに乗って体験してほしい。安心・安全で住みやすい京都になるようによろしく願う	5
自治体、町内会のあり方を検討して欲しい	4
税金の使い方を明瞭化して欲しい	3
アンケートが役に立つ行政が行えるか疑問だ	2
周辺市民や京都市民には不便のみで、四条通の歩道拡張は間違いだ	2
路上喫煙の罰則、路上喫煙防止条例の徹底	2
街の美化活動の強化	1
少子化対策、環境整備、補助金や助成金制度の強化	1
子どもと高齢者を結びつける活動推進	1
様々な集団（いわゆる趣味系サークルであっても）を支援し、そうしたつながりから地域社会を考えるべきではないか	1
子どものいじめでも先生自身の保身が第一で事故後に反省していない（教育委員会は何の仕事をしているのか疑問に思う）	1

12 パトロールの強化	件数
パトカーにはランダムな時間やコースで昼夜のパトロールをお願いしたい	10
住宅が密集している所では街灯しかない所があるため、冬場など直ぐ暗くなったりすると、街灯だけだと静かすぎて逆に怖かったりする。24時間やっているお店や、人の出入りが多い場所を作るとか、夜間の集団パトロールや警備体制を整えて欲しい	4
スーパーなど警備員さんが周りの人を見ないで歩いているので、当てにならない	1
最近では警察官のお姿が（パトロールが）見られないので寂しい	1
ボランティアの方々の見守り、警察の方々の見廻り、とても有難く感謝しております。「山田岐」交差点、車通りも多い上、狭く見通しも悪いです。上野橋の近く自転車が走るスペースがない所があったり狭かったり走りにくいです	1
もう少しパトロールを増やして欲しい。大手筋商店街、桃山御陵前、伏見桃山良き周辺は交通マナーが非常に悪い（特に車・タクシー）。横断歩道を青で渡っていてもクラクションを鳴らされる。タクシーが邪魔で通行できない	1

13 警察その他	件数
警察がもっとまともに仕事をしてほしい。警官の態度を常に改良して欲しい。上から目線や犯罪被害者を悪人視する言動は止めて欲しい	6
町中の交番の縮小化があるようですが、逆に増やして欲しいと感じる。交番が多く点在する事で犯罪は抑制される	2
警察官の方と住民がもう少し近くなるような、例えば自治会や自治会の運動会に参加するなど、イベントや交流があると良い。相談しやすくなる事により、住民の安全な生活も、又犯罪の情報も警察に多く入ると思われませんか？今は壁があると思う	1
性犯罪者へのGPS監視を行い、できればGPS情報を見られるようにして欲しい。女性にとって「何かあってから」では遅すぎるので、犯罪者のプライバシーとか言っている場合ではない	1
駐車違反を取締まりが、フェアではない場面をよく見る。取り締まるのであれば一部を残さず、すべての違法な駐車・駐輪を取り締まってください。出来ないのであれば、他の有効かつフェアな方法を考えて欲しい	1
盗難車と思われる放置バイクが「私道」に置かれている。警察に電話しても「届が出ていない」という理由で対応してくれない。どこに連絡すれば良いのか	1
何かあったとき、110番等電話しても事件の内容によって他の署にかけ直してくださいと言われて、市民の味方感を感じないときがあった	1
警察の事故処理において、事故証明書で物損のみの証明されていたことや交互点内の寸法を尋ねても回答がもらえず実測など、不快に思った	1
恐くて警察を呼んだのに来た警察の対応のおかげでひどいことになった。防犯なんてこちらが気を付けていてもすぐ崩されるし、警察も人による。	1
警察は犯罪予防ではなく取り締まりに重きを置いている。予防が一番では	1
交通事故が実際に起こった場所や状況をHP等で見られると注意できると思う	1
警察の方は事件・事故の情報を訪問して聞く際に、なにも見えていない人にも「職業・生年月日・携帯番号」を聞くのですか？携帯は伝えなかったそうだが、一人暮らしの方がびっくりしていたので、このことをはっきり確認してほしい	1

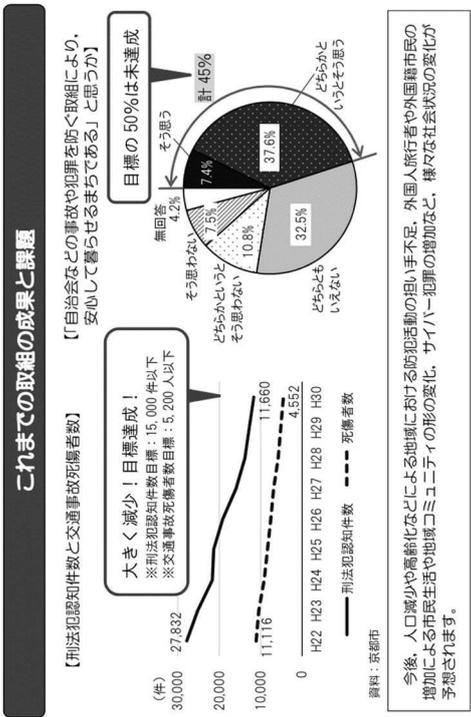
14 その他迷惑行為について	件数
イルミネーションの点燈で車が混んで困る。何の生産性もないのだから止めさせてほしい。近くの人々は大変迷惑している。	1
狭い歩道で観光客に広がって歩くな！と伝えることをして欲しい。私達にとっては日常の生活道路なので！	1
30年前に改築した住居に10年ほど前から怒鳴る・石を投げられたりするなど近所トラブルに困っている。警察に通報したことに怒っているようだ	1
暴走族が危険すぎると思います。何か止める手段がないのでしょうか。	1
放置自転車に関してですが、子どもも利用しやすい無料の駐輪設備の増加を希望します。また、繁華街エリアの駐輪場マップなどを分かりやすい場所に掲載していただくと助かります。（パンフレットにする。市のホームページの見つけやすい所にリンクを張る等）	1
伏見区内の小学校の通学路にある歩道橋近くの家から子ども・高齢者の目線に庭木の枝が数mに渡って出ている。安全に歩道が歩けるように庭木を切って欲しい。看板は歩道に出ると規制があるのでは！	1
ながらスマホがとにかく危険・迷惑。	1
近所にナンバーを折った原付バイクが毎日停めてある。どうしたものか？	1
土日や祝日などに毎週のように催しやイベントがあるが、音楽などの大きな音が響いてくる。人混みや観光客の増加でゴミのポイ捨て、交通歩行者のマナーの悪化が目立つ。夕方や深夜での大声や、旅行バックを転がして歩く音。民泊への車の（大型）乗り入れの音など改善される気がしない。観光客や旅行者などを増やすより地元の人々が安心安全に暮らせることに力を入れて欲しい。消費してもらうことに力を入れ過ぎたら暮らしはよくなる。	1
県外から京都市に来て3年、深夜の騒音バイクの少年・信号無視、朝から警察署に向かって大声で批判を叫ぶ集団、複数回見かける歩道での動物の死骸など、とても安心して生活できる場所ではない。これらの光景を見て個人的な防犯意識はかなり高くなった	1

15 各種情報提供・啓発活動の強化	件数
今はサラリーマンですが、職場を活用して情報の提供や啓発などをすればよいと思う	1
事故の多い交差点などを広く広報して欲しい	1
自分自身は自分で守る。そのための情報や啓発が必要	1
何事に関してもその大切さを周知させる。広報・市民新聞・ポスター等で徹底する	1
少子高齢化が進むために高齢者への情報提供・自分の身を守るための行動を広報するべきだ	1

16 その他	件数
自分のことは、自分でできるように体を動かす	3
高齢者の一人暮らしのため、心配なことだらけ	2
外国からの観光客が問題なのではなく、不法な外国人労働者や外国人の土地売買の野放しの状態にとっても危機感を感じる	1
アンケートの作りが雑なように感じた。みんなが車やバイク・自転車に乗るわけではないのに、必答となっていれば正確な数値を出すことは困難と思慮する。例えば、バイクを所持していない人は、バイクの鍵かけを1度もやっていない→防犯意識低いになってしまうのではないかと	1
町全体が気ぜわしく色んな人、建物が混ざり合って落ち着かない	1
時代的に仕方ない部分が多いと思う。やり過ぎても窮屈。気を付けるしかないかな	1
各個人が知る義務を持つ	1
町内会の参加が増えれば良いと思う	1
民泊させない	1
小中学校での授業で実習的に指導する	1
薬物依存症更生施設が悪いとは思わないが、住宅街や幼稚園・小中学校が多くある地域に建築されるとニュースなどで報道されているような犯罪が多く発生するのではないかと。建築する場所をもっと郊外とかにする	1

16 その他	件数
左利きなのでアンケートが少し見づらく時間がかかった	1
いろいろと思う所はありますが、こんなアンケートに書いても仕方ないのでやめておく	1
実際の現場で気付く危険な環境・状況、個人から寄せられる要望などにこれからも一つ一つ丁寧に取り組んでくださることと思っている。このアンケートを出しに行く途中、自転車同士で接触事故を起こし、他人事と思っていたが、いざ当事者となると慌てた。このアンケートのおかげで適切な対応がとれたと思う。	1
車・バイク・スマートフォン・カード類等、所有していない。家族なしの渡費の調査では偏りを持った調査結果になるかと思えます。高齢な特別の生活者として集計時に考えて欲しい	1
町内・学区内での活動が活発になるような取組	1
ますます多くなって行きます。個人個人が気を付けることがなくなっている	1
観光客の増加により犯罪の多様性に戸惑う。地元住民が安心して道を歩けるようになるのは無理なのか。京都は多くの店舗が東京や海外資本になり、民泊が多くなり、不特定多数の人が町内をガラガラと音を立てて歩いているのは不快というのではなく、不安である	1
問 26 と 27 は回答項目がリンクしていないので参加している側がもっとどうすればいいのか伝えたいときに書けないのもったいない	1

Ⅲ. 調査票



犯罪や迷惑行為に関する安心・安全について

問1 あなたやあなたの家族が犯罪に会う可能性について、どのように感じていますか。
 日常の行動範囲内（自宅周辺、市内の通勤・通学、買物などで行く地域）で当てはまるものをお答えください。（○は1つだけ）

1. 非常に高くなった
2. 高くなった
3. 変わらない
4. 低くなった
5. 非常に低くなった
6. わからない

問2 問1で「1.非常に高くなった」「2.高くなった」と答えた方へおたずねします。犯罪が発生する可能性が高くなったと感じる理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 全国的に凶悪な事件が多発しているから
2. 不審者が多くなくなったような気がするから
3. 日常の行動範囲内で実際に犯罪が発生し、身近に不安を感じるから
4. 訪日外国人が増えたから
5. 様々な情報が氾濫し、それが容易に手に入るようになったから
6. 地域社会の連帯感が希薄になったから
7. 人々の規範意識やモラルが低下したから
8. 人々の防犯意識が希薄になったから
9. 高齢者を狙った特殊詐欺が多発しているから
10. インターネットを用いたサイバー犯罪など、多様化、巧妙化してきたから
11. 警察官や地域の防犯ボランティアの姿が見えないから
12. その他（ ）



安心安全なまちづくりのために、 あなたのご意見をお聞かせください！

【次期京都市生活安全（防犯・交通事故防止）基本計画策定に向けたアンケート調査】

ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃から京都市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。京都市では、「京都市生活安全基本計画」（以下「基本計画」といいます。）に基づき、犯罪や交通事故の少ない安心・安全なまちづくりを実現するために様々な取組を実施しています。現行の第2次基本計画の計画期間は、令和2年度で終了します。そのため、市民の皆様や観光旅行者等が安心して生活・滞在することができるよう、令和3年度から令和7年度までの5年間を期間とする新たな基本計画を策定いたします。

そこで、市民の皆様から防犯・交通事故防止に関するご意見やご考えをお伺いし、新たな基本計画策定に向けた基礎資料とするため、アンケート調査を実施することといたしました。調査は無記名方式ですので個人が特定されることはなく、また、回答を他の目的で使用することはありませんのでご安心ください。何かとご多忙のことと存じますが、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

京都市長 門川 大作

ご記入にあたってのお願い

- ・ このアンケートは、京都市内にお住まいの18歳以上の方から、無作為に選んだ3,000人の皆様に回答をお願いするものです。到着のあて先となつているご本人がお答えください。
- ・ 外国人の方で通称名を登録されている方には、通称名を使用しましたのでご了承ください。
- ・ 調査票、返信用封筒には、お名前やご住所を記入いただく必要はございません。
- ・ このアンケートは全部で31問あり、回答時間は、概ね20分です。
- ・ この調査に関するお問合せは、下記までお願いいたします。

京都市 文化市民局 くらし安全推進部 くらし安全推進課
 〒604-8005 京都市中京区河原町通三条上る恵比須町4-27 京都朝日会館4階
 電話：075-222-3193 / FAX：075-213-5539

ご記入いただきましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて12月12日（木）までに投函をお願いいたします。



問3 犯罪や迷惑行為に関して、あなたが日頃、特に不安に思われていることは何ですか。
(○はいいくつでも)

- 
1. 暴行・傷害・殺人などの生命・身体にかかわる凶悪犯罪
 2. 空き巣、ひったくりなどの財産をねらう犯罪
 3. DVやストーカー行為などの犯罪
 4. 性暴力被害
 5. SNSなどインターネットを利用する中で受ける被害
(個人情報・画像流出・出会い系サイトなどの被害など)
 6. 覚醒剤・大麻・危険ドラッグなどの薬物問題
 7. 特殊詐欺や悪質商法などの詐欺
 8. 暴力団による組織犯罪
 9. 訪日外国人急増に伴うマナー違反
 10. 子どもを狙う犯罪
 11. 未成年者による非行や犯罪
 12. いたずら電話、落書き
 13. 違法駐車、放置自転車
 14. 放火や火遊び
 15. その他 ()
 16. 特になし

問4 あなたや周りの人が犯罪にあうかもしれないと不安を感じる場所はどこですか。
(○はいいくつでも)

1. 繁華街
2. 駅やその周辺
3. 路上・通学路
4. 電車やバスなどの乗り物の中
5. エレベーター
6. 駐車場・駐輪場
7. 公園
8. 自宅やその周辺
9. インターネット空間
10. 学校や幼稚園など
11. スーパーなどの店舗内
12. その他 ()
13. 特になし

問5 あなたや周りの人が犯罪にあわないために、過去1箇月の間に次のようなことに取り組みましたか。(問ア～問コそれぞれ当てはまるもの1つに○)

※1箇月上前か既に取り組んでいるものがある場合も引き続き取り組んだとして○をしてください。

	なかつた	1回	2回以上	毎回必ず
問ア 家の戸締り、車や自転車などの“鍵かけ”を必ず行った	1	2	3	4
問イ 地域での挨拶・声かけをした	1	2	3	4
問ウ 夜間外出時は家の明かりをつけたままにした	1	2	3	4
問エ 来客があった場合も身元が確認できるまでドアを開けないようにした	1	2	3	4
問オ 防犯ブザーの携行やひったくりの防止のため自転車の前かごにネットを張ったり、鞆を道路側に持たないなどの防犯対策を取った	1	2	3	4

	なかつた	1回	2回以上
問カ 犯罪にあわないよう防犯ブザーを携行するなど具体的な対策について家族と話し合った	1	2	3
問キ 子どもの送迎をした(あなた自身が送迎してもらった)	1	2	3
問ク 子どもの見守り活動や自治会のパトロールに参加した	1	2	3
問ケ 防犯に関する警察や行政からの広報を注意して見た	1	2	3
問コ 携帯電話やスマートフォンで、迷惑メール受信拒否、SNSの友達自動追加拒否などの設定をした	1	2	3

問6 あなたは過去1箇月の間に、次のようなことがありましたか。
(問ア～問ケそれぞれ当てはまるもの1つに○)

	なかつた	1回	2回以上
問ア 家の戸締りをせずに外出した	1	2	3
問イ 鍵をかけずに駐車した	1	2	3
問ウ イヤホンで音楽などを聞きながら歩いた	1	2	3
問エ 携帯電話やスマートフォンを操作しながら歩いた	1	2	3
問オ 自分の住所や名前など個人情報が入った郵便物などを裁断せずにそのまま捨てた	1	2	3
問カ 車内やお店などで、自分の持ち物を置いたままその場から離れた	1	2	3
問キ 午後10時以降にひとり帰宅した	1	2	3
問ク 知らないところからの電話やメールなどに応対・返信した	1	2	3
問ケ 鞆を車道側に持った、鞆を開けたまま人が密集する場所に入った	1	2	3

問7 特殊詐欺(「振り込め詐欺」(運付金詐欺、架空請求詐欺など)と「それ以外の特殊詐欺(金融商品など取引名目の詐欺など)の総称)に対するあなたの意識について、最も近いものはどれですか。(○は1つだけ)

1. 自分は被害にあわないと思う
2. どちらかといえば自分は被害にあわないと思う
3. どちらかといえば自分は被害にあうかもしれないと思う
4. 自分は被害にあうかもしれないと思う

問8 問7で「1.自分は被害にあわないと思う」「2.どちらかといえば自分は自分は被害にあわないと思う」と答えた方におたずねします。なぜそう思いますか。(〇はいいくつでも)

1. 知らない番号の電話には出なかつたり、不審な電話はすぐ切るから
2. 騙されたい自信があるから
3. 詐欺の手口をよく知っているから
4. 家族で合言葉を作るなど、日頃から話し合っているから
5. 特殊詐欺対策機能付電話の導入など、被害にあわないよう対策をしているから
6. 自分一人で判断せず、誰かに相談するから
7. 自分には関係ないことだから
8. その他 ()
9. 特に理由はない
10. わからない

問9 特殊詐欺に関する情報をどこで得ていますか。(〇はいいくつでも)

1. テレビ・ラジオの広報
2. 新聞・雑誌の広報
3. 市民しんぶんや回覧板などの広報
4. 公共施設などでのポスター掲示・チラシ配架
5. ホームページ上の啓発
6. 警察官などによる戸別訪問
7. 街頭での啓発活動
8. SNSによる発信
9. 各種イベント
10. その他 ()

問10 京都市を含め全国的に人口の減少傾向が続く、高齢者(65歳以上)の人口割合が増加、子ども(14歳以下)の人口割合が減少しており、今後さらさらこの傾向が続くと予想されます。あなたは、これらによって、どんな影響があると思いますか。(〇はいいくつでも)

	平成22年(10月1日時点)	令和元年(10月1日時点)
京都市人口	338,682人	410,425人
65歳以上	23%	28%
14歳以下	175,398人	160,004人
推計人口	1,474,015人	1,466,264人
	100%	100%

1. 高齢者をならった犯罪(特殊詐欺など)が増える
2. 子どもをならった犯罪(連れ去りなど)が増える
3. 空き家や空き店舗が増え犯罪者に利用される
4. 防犯活動の担い手が高齢化し、後継者不足が問題になる
5. これらの影響があるとは思わない
6. その他 ()

問11 それでは、犯罪や迷惑行為の被害にあわないために、安心安全対策をすべき主体はどれだと思いますか。(〇はいいくつでも)

1. 個人・家族
2. 町内会・自治会など地域団体
3. 地方自治体
4. 警察
5. その他 ()

4

問12 安心安全の取組として、次のどれがよいと思いますか。(〇は3つまで)

1. 自分が被害にあわないように、防犯情報などを自ら積極的に収集するなど安全対策を取る
2. 家族や周りの人が犯罪の被害にあわないよう気をつけたり、話したりする
3. 町内会や自治会でパトロールや防犯教室を行う
4. 行政や警察によるパトロールや防犯教室の実施、取締を強化する
5. 行政、警察などが地域の各種イベントなどで被害にあわないための情報を発信する
6. 行政が定期的に安心安全情報を発行・配信する
7. 防犯カメラの設置台数を増やす
8. 警察の巡回を増やす
9. 今のままで良い
10. その他 ()

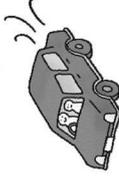
交通安全に関する安心・安全について

問13 あなたやあなたの家族が交通事故にあう可能性について、どのようにお感じですか。(〇は1つだけ)

1. 非常に高くなった
2. 高くなった
3. 変わらない
4. 低くなった
5. 非常に低くなった
6. わからない

問14 あなたが特に不安を感じる交通事故とは、どのようなものですか。(〇はいいくつでも)

1. 自動車の危険な運転が原因の交通事故(あおり運転含む)
2. バイクの危険な運転が原因の交通事故
3. 自転車の交通法規やマナーを守らないことが原因の交通事故
4. 歩行者の危険な行動が原因の交通事故
5. 欠陥車や整備不良が原因の交通事故
6. なから運転(スマートフォン操作やイヤホン使用など)が原因の交通事故
7. 飲酒運転が原因の交通事故
8. 居眠り運転が原因の交通事故
9. 高齢者が当事者の交通事故(加害・被害いずれの場合も含む)
10. 一定の病気などが原因の交通事故
11. 危険ドラッグなどの薬物使用が原因の交通事故
12. その他 ()



5

問 15 日常生活で、交通事故にあわないう、日頃あなたが心がけていること、取り組んでいることは何ですか。(○はいくつでも)

1. スピードの出しすぎに注意する
2. 運転中に横断者を見かけたら停車する
3. 運転中は車間距離を保つ
4. 飲酒運転をしない、ドライバーにはお酒を飲ませない
5. 道路を横断するときは、左右を確認する
6. 子どもの手をつないで歩く
7. 夜間に外出するときは、反射材などを付ける
8. 傘を差したり、蓑を着きながら自転車や自動車の運転、歩行はしない
9. スマートフォンを使いながら自転車や自動車の運転、歩行はしない
10. 自転車に子どもを乗せるときは、子どもにヘルメットをかぶらせる
11. 自転車に乗るとき、歩道に「自転車及び歩行者専用」の標識がない場合は、車道の左側を走行する
12. 横断歩道を渡るようにしている
13. その他 ()
14. 特にない



問 16 高齢運転者による交通事故の割合が増加しています。高齢運転者の事故を防ぐために、あなたが重要だと思うことは何ですか。(○は3つまで)

1. 高齢運転者の身体機能の子エックの強化
2. 安全運転のための運転技術講習の実施
3. 認知検査結果に基づく運転免許証の自主返納の促進
4. 病気や運転に関する相談窓口の充実
5. 運転免許証自主返納者への支援内容及び広報の充実
6. 交通ルールの遵守などを呼び掛ける啓発活動の実施
7. 安全運転サポート車の普及・啓発
8. 高齢者の移動手段確保に向けた公共交通網の整備
9. その他 ()
10. 特にない
11. わからない



犯罪被害者支援について

問 17 あなたや周りの方(家族、親族、交際相手や友人)がこれまで(過去5年間)に次のような犯罪に巻き込まれたことはありますか。(○はいくつでも)

1. 巻き込まれたことはない
2. 殺人・強盗
3. 暴行・脅害
4. 財産をねらう犯罪(窃盗など持株詐欺以外)
5. 財産をねらう犯罪(持株詐欺)
6. 性暴力被害
7. SNSを利用した犯罪
8. DVやストーカー行為
9. インターネットを利用した犯罪
10. 交通事故
11. その他 ()

問 18 問 17 の犯罪に巻き込まれたことがあるのは誰ですか。(当てはまるものに○)

1. あなた自身
2. 家族
3. 親戚
4. 交際相手
5. その他の友人・知人

問 19 問 17 で回答された犯罪に巻き込まれたときに、どこに相談にいきましたか。(○はいくつでも)

1. 警察
2. 市役所・区役所(交所)
3. 学校
4. 弁護士・法テラス
5. 犯罪被害者支援センターなどの専門機関
6. 親族・友人
7. 医療機関
8. 民間支援団体
9. 相談窓口がわからなかった
10. 相談していない

問 20 各種の被害にあったときの相談機関で知っているものはありますか。(○はいくつでも)

1. 京都市(くらし安全推進課)
2. (公社)京都犯罪被害者支援センター(京都犯罪被害者総合相談窓口)
3. 京都府警察(犯罪被害者支援室、京都ストーカー相談支援センター-KSCC)
4. 京都性暴力被害者ワンストップ相談支援センター(京都SARA)
5. 京都市こころの健康増進センター
6. 京都市消費生活総合センター
7. 京都市男女共同参画センター
8. 京都府暴力追放運動推進センター



問 21 あなたが、レイプ、ストーカー行為、配偶者からの暴力などの性犯罪等の被害にあった場合、誰かに打ち明けたり相談したりしますか。(○は1つだけ)

1. 家族や親戚
2. 友人・知人
3. 民間の専門家や専門機関(弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセラー・カウンセリング機関)
4. 医療関係者(医師、看護師など)
5. 学校関係者(教員、養護教諭、スクールカウンセラーなど)
6. 行政の相談窓口
7. 警察の相談窓口
8. 打ち明けたり相談することができるかわからない

地域による防犯・交通事故防止について

問 22 地域（自治会・町内会など）活動で、特に大切だと感う活動は何ですか。（○は3つだけ）

1. 防犯・迷惑行為の追放の取組
2. 交通安全の取組
3. 子どもの見守り活動
4. 青少年の健全育成
5. 防災・防火の取組（消防訓練など）
6. ごみ減量・リサイクル運動
7. まちの美化運動（ゴミ出しのルール形成・遵守、落書き消し・ゴミ拾いなど）
8. 美しいまち並み形成運動やガーテニング・緑化などに対する顕彰
9. 各種福祉活動（高齢者、障害者、子育て支援など）
10. 親睦活動（運動会、夏祭り、地蔵盆など）
11. その他（ ）



問 23 あなたは、地域（自治会・町内会など）の人々が防犯・交通事故防止の面で協力する必要性を感じますか。（○は1つだけ）

1. 感じる
2. どちらかといえば感じる
3. どちらかといえば感じない
4. 感じない
5. わからない



問 24 あなたは、この1年間の間で地域（自治会・町内会など）の人々による防犯・交通事故防止の面で活動に参加していますか。（○は1つだけ）

1. よく参加している
2. 時々参加している
3. ほとんど参加していない
4. まったく参加していない

問 25 問 24 で「1.よく参加している」「2.時々参加している」と答えた方におたずねします。どんな活動に参加されていますか。（自由記述）



問 26 問 24 で「1.よく参加している」「2.時々参加している」と答えた方におたずねします。地域防犯活動・交通事故防止活動をさらに強化するには、どのようなことが課題だと思いますか。（○は3つだけ）

1. 地域防犯活動への人員募集などの広報の強化
2. 社会人やPTAなどの現安世世代の活動への参加
3. 学生の活動への参加
4. 地域にある企業や大学の活動への参加もしくは支援の強化
5. 行政や警察による犯罪情勢など活動の参考となる情報の提供方法・機会の増加
6. 活動に対する行政からの人的、財政的支援の充実
7. 地域の交番などの警察との連携強化
8. 市民一人一人の防犯意識の高揚
9. 活動従事者育成の仕組みの構築
10. わからない
11. その他（ ）



問 27 問 24 で「3.ほとんど参加していない」「4.まったく参加していない」と答えた方におたずねします。どのような地域活動であれば参加してもよいと思いますか。（○は3つだけ）

1. 正式に団体に所属しなくても参加できる
2. 当番や役割を強制されずに参加できる
3. 空いた時間に活動できる
4. 活動が自分や家族の安全に直接繋がる
5. 趣味やレジャーの延長で参加できる
6. 職場や学校の活動の一環として参加できる
7. 親子や友人同士などで参加できる
8. 体力づくりや健康増進に繋がる
9. 票品や割引券がもらえるなどのメリットがある
10. 参加したいとは思わない
11. その他（ ）

京都市の安心・安全（防犯・交通事故防止分野）の取組について

問 28-① 京都市の安心・安全（防犯・交通事故防止分野）に関する次の取組について、知っていますか。（問ア～問カそれぞれどちらかに○）

	知っている	知らない
問ア 安心安全ネット継続応援事業（学区内で自主的な活動展開する団体（安心安全ネットワーク）に対する活動支援事業（補助金交付、防犯活動支援物品の貸出など）	1	2
問イ 行政、警察、地域住民、事業者の方々と連携して安心安全の取組を行う「世界一安心安全・おちてなしまち京都 市民ぐるみ推進運動」	1	2
問ウ 地域団体（自治会や町内会など）を対象に、防犯カメラ設置に当たり経費を一部補助する制度	1	2
問エ 運転免許自主返納者に対する特典交付（500円相当のギフトカード）	1	2
問オ 犯罪被害者への支援（生活資金の給付、一時的な住居の提供など）	1	2
問カ 特殊詐欺被害防止のための広報啓発	1	2

問28-② ①で1つ以上「知っている」と答えた方におたずねします。何で知りましたか。
(〇はいくつでも)

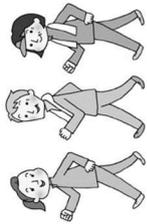
- 1. リーフレット
- 2. ポスター
- 3. 市バス車内アナウンス
- 4. 京都市のホームページ
- 5. 京都府警のホームページ
- 6. Facebook・TwitterなどのSNS
- 7. 市民しんぶん
- 8. その他 ()

防犯・交通事故防止分野における安心・安全を実現するための総合的な取組について

問29 犯罪や迷惑行為、事故などの問題に関して、市に取組を強化してほしいと思うことは何ですか。(〇は2つだけ)

- 1. 啓発活動、講習や研修を充実することなどによる地域活動を行う人材の育成推進
- 2. 正しい交通ルールとマナー実践の呼びかけ、違法駐車の手配、放置自転車撤去などによる、交通安全対策の推進
- 3. 地域やボランティア団体による防犯・交通安全活動などの市民の自主的活動への支援
- 4. 公共空間や道路における犯罪や交通事故の防止に配慮した環境づくりの推進
- 5. さまざまな年齢層、さまざまな立場に応じた防犯対策、交通安全対策などの推進
- 6. 犯罪や事故発生時など、いざというときのための情報収集体制や通報システムなど緊急連絡体制の整備
- 7. 犯罪被害者などへの支援や、社会全体で犯罪被害者などを支えるための、啓発や教育活動の推進
- 8. その他 ()

問30 「日常生活における防犯・交通事故防止」についてご意見・ご要望がありましたら、自由にお書きください。



あなたご自身について

問31 あなたご自身のことについて、お答えください。

問ア 性別 ()に記入)	()	問イ 年齢 (〇は1つだけ) ※令和元年11月1日現在	1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上
問ウ 職業 (〇は1つだけ) ※1.~3.を選んだ方は【 】内にもいっ○	1. 自営業 (家族従業者を含む)・自由業 → 【仕事先は、ア、市内 イ、市外】 2. 会社員・公務員など (正社員) → 【仕事先は、ア、市内 イ、市外】 3. 正社員以外のパート、アルバイトなど → 【仕事先は、ア、市内 イ、市外】 4. 専業主婦・専業主夫 5. 4. を除く無職 6. 学生 7. その他 ()		
問エ 家族構成 (〇は1つだけ) ※3.または4.を選んだ方は【 】内にもいっ○	1. 単身 2. 夫婦2人 3. 2世代 ↑↑ あなたは【 ア、親 イ、子】 4. 3世代 ↑↑ あなたは【 ア、親 イ、子 ウ、孫】 5. その他 ()		
問オ 住まいの区 (〇は1つだけ)	1. 北区 2. 上京区 3. 左京区 4. 中京区 5. 東山区 6. 山科区 7. 下京区 8. 南区 9. 右京区 10. 西京区 (嵯西) 11. 西京区 (嵯西以外) 12. 伏見区 (深草) 13. 伏見区 (醍醐) 14. 伏見区 (深草・醍醐以外)		
問カ 居住年数 (〇は1つだけ)	1. 1年未満 2. 1年以上~5年未満 3. 5年以上~10年未満 4. 10年以上~20年未満 ※「持家」はご自身以外の家族が所有している場合を含みます。		
問キ 居住形態 (〇は1つだけ)	1. 持家 (集合住宅) 2. 持家 (一軒家) 3. 借家 (集合住宅) 4. 借家 (一軒家)		
問ク 普段の主な移動手段 (〇は1つだけ)	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 車 5. 公共交通機関 6. その他 ()		
問ケ 近所付き合いの程度 (〇は1つだけ)	1. 頻繁に付き合いがある 2. 挨拶程度の付き合い 3. まったく付き合いがない		

お疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。

京都市文化市民局くらし安全推進部くらし安全推進課
令和2年3月発行
京都市印刷物番号第313248号